京城日報
十四日夕刊
定價 一部金二錢五厘 一ヶ月金五拾五錢 郵税一ヶ月金十五錢 前金三ヶ月分二圓六ヶ月分四圓 郵券代用二割增
廣告料 五號活字十六字詰一行金八拾錢 二號活字十二字詰壹行金壹圓 三號活字八字詰同上 四號活字一行金壹圓貳拾錢
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介
京城太平通一丁目
發行所 合資會社 京城日報社
電話番號 (編輯)二六四・(營業)二六一 振替貯金口座京城 三〇〇番

紛糾せる支那政局

▲張勳邸に爆彈投下 十二日午前六時陸の飛行機一臺張勳氏邸の上空に飛翔し來り爆彈を投下せり(北京電報)

▲獨逸俘虜參加確實 張勳軍に獨逸人俘虜の參加せるは確實なるもの如し(北京電報)

▲張勳氏家族の行方 張勳氏の家族は獨逸病院に遁竄せるもの如し(北京特電)

▲段祺瑞氏愈入京乎 段總理は愈十三日天津より入京したる筈(北京電報)

○英軍飛行機奏功す

多數の英國飛行機は獨逸のクルップ工場の上空より爆彈を投下し同工場の四分の一を破壞大損害を與へたり(倫敦電報)

○遣露米使日本訪問か

遣露米特使ルート氏は露國よりの歸途公式資格を以て日本を訪問す可し(紐育電報)

○齋藤氏謝罪

鐵道調査委員會に附せられたる憲政會代議士齋藤隆夫氏は十三日下院に於て謝罪せり(東京電報)

○布目水路部長通過

鎭海要港部視察の爲め來鮮中なりし海軍水路部長海軍少將布目滿造氏は十三日午後七時釜山發列車にて歸任せり

○川上米紙記者來鮮

紐育イブニング、ポスト東洋記事擔當記者川上清氏は十四日朝關釜連絡船にて來釜同十時列車にて京城へ向へり同氏は朝鮮滿洲哈爾賓天津北京中央支那を視察する爲めなりと(釜山特電)

○大阪商船來鮮

大阪商船會社長は鮮滿視察の爲め十三日夜入港の連絡船にて來釜十四日午前十時三十分發列車にて京城に赴き同地より安東滿洲ハルビンに到り同地より大連を經て歸阪の豫定なりと(釜山特電)

●土地商租成立

滿洲に於ける土地商租は一昨日支那下院を通過したるが右に就き一般の紛議あるに拘らず多數を以て可決されたるは之れにて滿洲に於ける我が國民の權利は確實となり我國の利權たる事明かとなれり

●兩院議事別電

(十三日東京特派員發)

其一

十三日午前十時貴族院本會議を開き東拓法改正法律案は特別委員長報告に次ぎ黑岡子爵より外國の關係に就き質問あり委員長より答辯あり政府委員より說明あり結局賛成少數にて可決せり同院は同化の主旨を徹底すべき注意を以て本案を可決確定せり

其二

貴族院は午前開議各分科主査の報告あり決に當り日本興業銀行法改正案は會期切迫し該法律改正の見込みなきを以て削除する事に決し豫算に關係する法律案の成立又は變更の場合は豫算に變更を來すべきことを條件として左の通り可決せり尚政府に對する希望として左の事項を決議せり

一、會計法第五條二項に照らし必要と認むるを以て政府は將來豫算の說明文の範圍を脫せざる樣注意ありたし

一、總豫算追加要求の場合には成るべく其影響すべき將來の一般を明示して提出ありたし

一、機械其他式器の新設及改良は外國に委かするに止らずして資源を國內のものに語り科學的の應用を努められたし

其三

衆議院は午後一時本會議を開きしも本日は關係事項なし

●總督歸任期

長谷川總督は臨時議會終了後當局者と重要政務の打合せをなしたる後歸任の豫定なるが右の都合に依りては多少の延期あるやも知るべからずと聞く

●總監視察延期

山縣政務總監は八日頃出發黃海道視察の筈なりしも雨天の爲め延期し天候の不定と共に一面總督等重要の政務堆積の爲め目下の處殆んど無期延期の姿なりと

●鐵道統一問題

其の實行期如何

滿鮮鐵道の統一に關する勅令案は大多數を以て樞密院を通過したるに付鮮滿鐵道の併合統一は多く其の實現を見得べき滿鮮統一案に對し引き居れるは關東都督府の總裁兼任問題にあり鮮滿鐵は殆んど異議なしと云ふも兩者の故障なく遠からず實施を見るべし尚ほ樞密院は暑中休暇の爲め特に

●臨時船舶檢査

遞信局にては臨時船舶檢査執行地及び執行期間を左の通り定め朝鮮船舶檢査令により檢査を受くべき船舶の檢査を執行する由

▲群山港 八月十日より十九日

▲濟津港 九月一日より十日

●歐亞連絡模型陳列

歐亞連絡鐵道及びニューマチックケーソン模型は鐵道局より始政記念共進會に出品し閉會後も交通舘に引繼ぎ陳列しありたるが本年三月より東京に於て奠都奉祝博覽會開催に付一兩日中に返送し來る筈なるにより從前の如く交通舘に陳列し一般の縱覽に供する由なり

□內地電報遲延

十四日午前中東京大阪間電信線に故障を生じ該方面の電報は數時間遲延したるが本社東京電報も終にその大部分は夕刊締切の間に合はざりき

●辭令(十二日附)

總督府道技師 綾田豐
任總督府技師敍高等官五等六級俸 下賜農商工部山林課勤務を命す
總督府技師 八尋生男
任總督府道技師敍高等官五等六級俸 下賜全羅北道在勤を命す
總督府技手 石塚峻
任總督府技師敍高等官七等十級俸 下賜忠淸南道在勤を命す
總督府忠淸南道技師 飯嶋寬一郎
任總督府技師敍高等官七等十級俸 下賜全羅南道在勤を命す
總督府道技師 指宿武夫
黃海道在勤を命す
總督府江原道技師 入田吉平
平安南道在勤を命す
總督府咸鏡南道技師 津村哲四郎
咸鏡北道在勤を命す
總督府咸鏡北道技師 竹內進
江原道在勤を命す
總督府全羅北道技師 立花通年
咸鏡南道在勤を命す

●平和と降誕祭

昨日京城駐在某國領事の許に達した情報に據れば目下敵味方となく平和熱望の暗流甚だしき者あり來る十二月の基督降誕祭迄には平和を回復すべきを殆ど一致し居れりと言へり

●鮮銀總裁滯京

東上中の美濃部鮮銀總裁は近く歸任の筈なりしも木村理事の容態俄に全快するに至らず醫師に外出を禁ぜられ居ると行務の關係上當分歸鮮し難しとの事なるが或は別項八月二十一日の株主總會開會まで滯京する事となるやも云ふ

●長澤鼎氏動靜

來鮮中なりし長澤鼎氏は本田博士同道十二日朝入京午前中總督府山縣政務總監に敬意を表したる後巴城舘にて小原、關屋、中村、人見、加藤の諸氏と晝餐を共にし同日夜有志の開催に係る千代本の晩餐會に臨席十三日朝鮮ホテルに於ける農務課の午餐會に招かれ其れより同課の案內にて東亞煙草、工業傳習所、美術品製作所等を巡覽の上午後四時三十分南大門發列車にて成歡に歸趨せり

●太田秀穗氏

元女子高等普通學校長にして佐賀縣師範學校長に榮轉せる太田秀穗氏は愈十五日午前八時三十分南大門驛發列車にて出發赴任す可し

●岩井技師出張

總督府技師岩井長三郎氏は營繕工事調査の爲め元山咸興淸津鏡城羅南及び會寧に出張する事となり十三日出發せり

●京畿稻作狀況

七月十日現在に於ける京畿道管內稻作狀況を聞くに本春以來打續ける旱魃の爲め水利灌漑の便ある一地方を除き挿秧殆んど不能の狀況なりしが六月下旬及び本月初旬の降雨に依り約七割七分方挿秧を見たり尙今後兩三日中適量の降雨あるに於ては各地とも全部挿秧の終了を見るに至るべし、作付反別は水稻十三萬七百卅九町一反步、陸稻二千百八十八町五反步にして前年作付反別に比し水稻二割四分三厘強の減少陸稻一割三分強の增加なりと

●東拓定款改正

臨時株主總會の召集 東拓法改正案兩院を通過せし結果東洋拓殖會社にては定款の改正を必要とし該改正法の實施期たる十月一日迄に其の改正定款を株主總會に附議して同意を得登記の手續きを終らざるべからざるに付目下會社にて改正定款の立案審議中なり尙ほ株主臨

●立花師團長檢閱

立花第十九師團長は十三日龍山野砲兵隊を檢閱したることは既報の如くなるが十四日は午前八時龍山步兵第七十八聯隊の檢閱を開始したるが十五日も引續き同聯隊の檢閱を爲す筈なるが之れにて龍山各部隊の檢閱を終了し一段落を告ぐるものなりと

時總會は總會通知の法定日數其他の關係上九月初旬となるべし

●東拓理事任期

東拓改正法は理事の任期を四年(現行法は五年)に短縮したるが現任の松平川上高瀨三理事は附則により從前の例により五年なりと

●鮮銀定時總會

大正六年前半期の朝鮮銀行決算を報告すべき定時株主總會は八月二十一日東京銀行集會所に開會する事に決定したりと

●物產組合ご注意

從來朝鮮重要物產同業組合令の規定を無視して其名稱に『何々同業組合』又は『同業組合聯合會』なる文字を冠附する者間々あり之等は明かに法令違反にして同令の知不知又は情實の如何に關せず同令施行規則第十九條に據る罰則の適用を受くべきものたるを以て當局は今後同令違反者發見次第告發以つて處罰すべしと言へば當業者は此際猥りに同業組合其他該令に抵觸する如き文字の使用を爲さゞる樣一般の注意必要なるべし今同令施行規則第十九條を採錄して當業者の參考に資せん

第十九條 朝鮮重要物產同業組合に非ずして其の名稱中に同業組合又は同業組合聯合會なる文字を用ゐたる者は五十圓以下の罰金に處す

●京電配當案

大正六年上半期に於ける京城電氣會社の利益配當案左の如し

當期總益金	三十九萬四千九百〇一圓
前期繰越金	三萬三千百十二圓
合計	四十二萬八千〇二十二圓
內	
償却金	五萬圓
諸積立金	三萬六千圓
役員賞與金	一萬圓
株主配當金(九分)	十八萬六千八百七十五圓
後期繰越金	四萬五千百四十八圓

●耐火煉瓦認可

鎭南浦中村組と平壤京谷商會との共同出資にかゝる平壤に於ける耐火煉瓦製造事業は豫て合資會社の設立認可申請中の處本月二日附を以て平南道廳を經由し認可の指令ありたり(平壤)

●大連より啓上

十一日 特置通信員

▲日支雜居問題 大連市に於ては日支人雜居問題が今や漸くその研究的必要を認められ申候、元來本問題は昨年來大連に於ける數次の火災に根源するものにして火元は何時も支那人と相場極れるより危險豫防の爲め不規律なる雜居を改め何等か此處に制裁を立てしめんとの必要より起りたる事なるが奉天驛の大火が是亦た支那人なりしより愈々其熱を高め殊に夏季衞生上の取締より云ふも現在の如き無制限的雜居は到底許し難きものなりとの意見高まり居り候乃ち爰に公民權の資格を定めて支那人中地位資力優等に衞生諸規則を遵奉するものに公民權を與へ其の有識者は自由に雜居を許すも無資格者は悉く一定の地區に集め所謂支那人街を組織せしめ現在の如き雜居は之を廢止せしむべしとの議論大に有力に有之候、是れ容易に實施し難き理想論なれども確に研究の價値はあるべく一問題に御座候。

▲野球熱の高潮 早稻田野球團遠征し來つて滿洲倶樂部及び實業團と數次の決戰をなし其の結果は早稻田の全勝に歸し到底互角の相撲にならず唯最後に滿倶及び實業團が各々一點を入れ得たるが如きは横綱に對し一突き容へたるか否かを問題とする位の有樣にて其の實力の相違に今更乍ら驚嘆せる次第に有之候處、之が一の刺戟となり動機となつて滿倶及び實業團とも大に悟る處有之、今まで兩者が互に功名を爭ひ居たる小人的量見をサラリと打捨て兩者互に眞劍となりて赤裸々に全力を發揮し頻りに稽古を勵み居り申候、是れ恰も浦賀の空砲三發に幕末の國民が覺醒したると同樣早稻田軍の來遊が滿洲野球界を刺戟したることの頗る大なるに感謝の意を捧ぐるものに御座候

▲旱魃ご甘雨 今春來の大旱魃にて關東州は勿論、滿洲全體に彼害甚だしく穀類の植付不可能なる上に滿洲特產物の柞蠶すら木の芽の生育惡しき爲め虫が斃死するもの多く其の收穫殆んど之れなき程の旱害を論じ滿洲各地に甘雨沛然として來り連續申候、然るに十日以來州內は勿論に炎熱を一掃して而も作物には充分の濕潤を與へ大連地方の飲料水問題にも多少好影響を及ぼしたる爲め官民一同の喜悅限り無き有樣に御座候此分にては本年の旱害も存外調和恢復せられて大豆、包米、高粱等相當の收穫を齎らし來るやも知る可らず一般に愁眉を開き居る次第に有之候早々不一。

○人心恟々避難者多し

北京市內は目下秩序を維持せられ居るも公使館區域外は武裝せる支那兵の警邏嚴重を極め人心恟々として避難する者頗る多し(北京電報)

○外城兵火に罹る

天壇方面激戰中外城の一箇所に火災起り正陽門の櫓門砲火の爲め破壞せられたり(北京電報)

○獨逸の危機察すべし

皇族會議の內容

獨逸皇族會議に於ては二三會員を免黜し又民心の反抗を緩和する爲め普魯西亞に普通選擧法を布く事に決せり以て獨逸の危機切迫しつゝあるを察知すべし(路透電報)

●上旬鮮鐵收入

七月上旬に於ける朝鮮鐵道局の營業成績は客車收入十二萬六千五百六十五圓貨車收入十四萬九千四百五十四圓合計二十七萬四千十九圓なるが前年同期に比較すれば七萬九千三百十八圓の增收なりと

▲地方通信

仁川 ▲特別評議員 櫻井小一、鍋島豐治、鄭禧朝、張錫佑の四氏は仁川商業會議所特別評議員に任命されたり ▲佛敎靑年會例會 仁川佛敎靑年會にては十一日の例會を十五日に延期し同日午後八時より靑年會に於て催ほす

群山 ▲商議員會 農商工部長官より群山商業會議所に對し頃者米穀檢査規則改正及び大豆檢查規則制定に關し諮問し來りたり會議所は先づ群山當業者側の意見を徵する要ありと爲し群山米穀商組合長脇村氏に當業者等の意見取纏め方を依託し十三日中には脇村代表者より回答を得る豫定にて會議所は十四日商議員會を開き米穀商側の答案を基礎とし愼重審議の決果當局の諮問に答申すべしと ▲書記長辭任 群山商業會議所書記長石井彥三氏は頃日大澤會頭の手許に辭表提出中の處十日役員會議の結果辭任の許容の事に決したるが別項十四日開催の商議員會に於て同氏解任手當に關する協議ある筈なり ▲著任挨拶 既報全羅北道米穀檢查所長として十日著任せられたる青戶藤吉氏は前所長山本尋巳氏と共に十一日各方面を歷訪し新任の挨拶ありたり ▲山本氏出發 群山在任中全羅北道米穀檢查所長より全羅北道廳勸業課榮轉に決したる山本尋巳氏は豫定の如く十二日群山二番發列車にて家族と共に赴任せられたるが停車場には官民多數の見送ありたり因に山本氏在任中の功勞に酬ゆる爲め官民發起となり記念品を贈呈すべく各方面の贊助を求めたるに贊同者多數に上り出發に際し記念品を贈呈したり

光州 ▲昨年度徵稅成績 昨年度中の本道徵稅成績を聞くに地稅市街地稅戶稅家屋稅酒稅煙草稅其の他合して調查總額百七十五萬五千三百十五圓にして內收入濟みのもの百七十五萬三千九百九十四圓にして五百十八圓は不納缺損納入未濟の分八百三圓なり收入步合は九割九分九厘にて比較的好成績なり ▲道廳員の養蠶 道廳にては蠶業獎勵の一端として道廳員全部に養蠶を爲さしむる事とし本年秋蠶より開始の筈なるが一家を得へ居るものは一斗其他のものと雖も便宜飼育を爲すものは適當に飼育すべく桑葉は道にて斡旋の上民間より買上げ配付すべく時々技術者をして各戶を見廻しむる筈なりと ▲光州地方地價暴騰 光州地方の產業は將來益々有望なるものあり殊に羅州平野の如きは內地資本家の著眼する處となり頗る多く爲めに近來に至り二三割方の地價暴騰を見たり ▲農銀總會期 光州農工銀行にては來る二十八日定期總會を開き上半期營業及び決算を爲し配當率を決定の筈なるが多分年八朱なるべしと ▲警務部登山會 警務部にては來る二十二日を期し全職員を擧げて無等山登山會を開き一日の淸遊を試むべしと

大邱 ▲同志社旅行團來邱 京都同志社大學生六名に依り組織されたる音樂旅行團は十一日午後九時四十分著列車にて來邱十二日夜市內南龍岡町組合敎會堂に於て音樂會を催せるが十三日午前一時四十分大邱發急行列車にて京城に向へり ▲大邱銀行支店設置 大邱銀行倭舘支店新築工事は本月二十日頃落成すべきに就き同二十七日より事務開始の筈 ▲輕鐵運動委員來邱 金泉公正會長山上三欒同學校組合管理者正井秀之同有志城井惟隆同逵無門氏等は金泉尙州間輕鐵布設金泉護岸工事速成の爲め鮮南銀行支店設置等に關し運動の爲め十二日來邱したり ▲慶北秋蠶種子配付 慶北蠶業組合にては各所より秋蠶配付の請求頻々なるより十三日第一回七千枚を發送し尙引續き配付の豫定なるが本年度に於ける配付豫定數は合計一萬一千枚なりと

人事消息

▲齋藤安二氏(元山憲兵分隊長) 十四日朝出發赴任
▲尾山直治氏(久原精錬所技師) 十四日朝入京山本旅館へ
▲三宅長策氏(辯護士) 十三日夜著巴城舘へ
▲岸本鉄次郎氏(辯護士) 十三日午後著山本旅舘へ
▲東京府下花原郡敎育家團二十六名 滯京中の所十三日夜釜山へ
▲松元freezing院(仁川警察署長) 十三日夜歸任
▲弓場重榮氏(元京城銀行支配人) 十三日夜行列車にて內地へ
▲熊本憲兵大尉 入京中の所十三日夜行列車にて釜山に向ふ

口島の巡査生活（七）

暢氣なども暢氣だが又苦しい話

◇悲劇序でにもう一つ　轉ろげ込んだ漂泊者◇

島に居ると陸岸方面では到底想像も及ばぬ程、種んな現象に出會はす事がある、悲劇序でにもう一ツだけ紹介しやう――試みに全羅南道の地圖を披げて見ると、恰度碁石をバラ撒いたやうに散在して居る多島海の島々の中に

三島が鼎坐

するであらう、この三島の內側は非常に穩くて深い俗に八口灣といひ日露戰役の際は我海軍の根據地となつたので知られてゐる、この八口灣の附近に名も美しい玉島といふ一小島がある、全島擧つて鮮人ばかりの中に唯一組笠原某といふ內地人の夫婦者が住でゐる、餘程久しい以前からこの島に移住して孜々と農事を經營してゐるが、今では多少の小金も出來たので

自ら玉島王

と號して朝夕好きな酒と親み醉うては俳句を駄句り和歌を詠む面白い男だ、處が或る日この男の處へ不思議な男が轉げ込んだ、事業に失敗した爲め自暴自棄に陷り所定めぬ漂浪の旅から旅を經廻ぐつた揚句島の知人を賴つて來たのだが船が玉島に著くと、急に風向きが變つてその儘玉島に上陸し、見ず知らずの笠原の處へ『暫く御厄介になり度い……』と轉げ込んだのである隨分變た男だが笠原も亦名に負ふ變り者『さあ〱御遠慮なく』と快く承諾したのでこの

肝膽相照す

◇變者と變者は忽ち肝膽相照す仲となり夫れからは◇

二人して毎日々々浴びる程痛飮する

買ひ置きの清酒がなくなれば朝鮮の濁酒に夜を徹するといふ有樣だから堪つたものではない、終にその男は腦溢血を起してバッタリ倒れた儘呼べど返へらぬ人となつた、驚ろいたのは笠原某である、豈夫腦溢血であらうとは知らず、恰度陸岸方面では頻りに虎列拉の流行る頃であつたから是は屹度傳染病に違ひないと思ひ込み、早速其の死骸を裏山の樹立の中に隔離すると同時に斯くと駐在所へ急報した

◈命懸けの麵麴買ひ

▲夜の二三時から長蛇の列を作つて――日本人には一度で懲々▼

露都貿易――露都では今大弊な二つの[illegible]がある、朝八時に賣り出す麵麴は夜中の二時三時頃から列を作つて待つてゐなければならない始末で、向ふに行つてゐる日本人は誰でも皆此の經驗がある日本人には露西亞人の樣に氣永に根氣よく我慢して待つて居る事が出來ないさうだ、若し我慢でもすれば身體を害れるばかりだ聞けば我大使館も麵麴が手に入り兼ねて頗る弱つてゐるとの事だがそこへ行くと露西亞人は娘でも何でも平氣で待つてゐる、これ許りは日本人には眞似が出來ない、一度で懲々して仕舞ふさうだ、それから本國では露都に限らず何處でも、民間には一臺の自動車も置かないで悉く軍需品の徵發、其他の軍事上に使用されて居る、さうして之等の自動車は米國製の素晴らしい大きいものばかりで日本では迚も見る事の出來ない樣なのがあるさ

♣東京女子高等師範旅行團來る

東京女子高等師範學

東京女子高等師範學校職員生徒十九名は滿鮮修學旅行の途次十四日午前八時五十分南大門驛著列車で入京した、一行は矢部、竹田、坂井の二教授及び春島の二女史の外生徒十五名で一行は皆旭町不知火旅館に投宿十四日は高等女學校、女子高等普通學校を始め市內の各學校を參觀、十五日は午前中仁川に向ひ同地見學の上午後歸著十六日は再び京城市中見學、十七日朝出發平壤に向ひそれから滿洲に赴くさうだ

◉未練から刃傷

[illegible]坑夫濱口德太郎は嘗て離別[illegible]

傷は何れも輕微なりしも一時は中々の騷ぎなりし原因は某女が離別後田中某七九なるものへ再緣することゝ聞付け[illegible]

◉連絡船上陸客

十三日午前八時五十五分釜山入港さくら丸一二等客

一等の部 英國人アイ、ツエクション[illegible]

古川信次、同謙也、奥田麻五郎、松田晩吉、中島[illegible]久蔵、[illegible]久二郎、金[illegible]、形部[illegible]次郎、[illegible]れん、[illegible]、波川すゑ、同[illegible]、于[illegible]松[illegible]三、橋本新太郎、丸井幸平、[illegible]田榮三郎、日野[illegible]、中[illegible]つ、津田[illegible]三、松[illegible]光太郎、外谷[illegible]三、田村[illegible]、中村金太郎、[illegible]、同とみ、同[illegible]、山[illegible]

一等（一名）[illegible]宣文

二等（一四名）[illegible]已三吉、金[illegible]、清水吉一、松本[illegible]、淵邊[illegible]、柳山みれ、桂山文子、佐野乙[illegible]、桃[illegible]、白井[illegible]子、同しの、同きみ子芥川[illegible]、森田作太郎

三等（八十五名）

◉列車轉覆 負傷一名を出す

十三日午後七時名古屋發下關行列車が同驛を距る一哩の地點を進行中十四輛目の貨車はその積載せる鐵器の重量に堪へず車軸を折りし爲轉覆其他貨車一輛客車一輛轉覆し負傷者一名を出したり（大阪特電）

◉西鮮豪雨 各所の洪水

西鮮地方は過日來の降雨十三日に至り稀有の豪雨となり京義線良策枇峴の線路の一部流失し午後七時頃より不通となりたるを以て十三日午後安東縣發釜山行急行列車は枇峴に停留し又十三日午後九時四十分南大門驛を發したる安東縣行急行列車は良策に停留しあり線路は十四日午後二時頃に至るも猶復舊開通せず

▲大同江の增水　大同江は十四日午前十時成川郡愛田に於て十七尺八寸同時刻平壤に於て十一尺一寸の增水あり本日夕刻には更に增水の見込みなり平元街道成川郡內各所洪水の爲め交通杜絶の個所を生じたり

▲淸川江の氾濫　淸川江流域各地江水氾濫し被害少からず殊に軍隅里附近に於て浸水家屋少からず（平壤支局電話）

▲北部一帶降雨

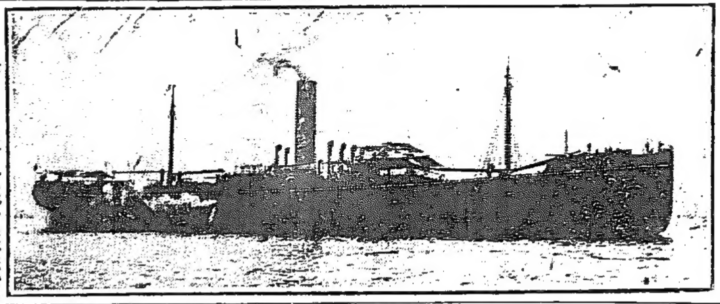
十三日來北西部地方には所々に局部的降雨あり十四日午前六時に至る雨量は龍岩浦約百耗に達せり十四日朝渤海灣に低氣壓現はれ國境方面を通行せんとしつゝあるを以て北部一帶に亘り引續き降雨ある可き模樣なり（十四日正午觀測所發）

◉又も連絡船より投身自殺

十四日午前六時四十分釜山出港連絡船壹岐丸は七時港外五晧島と絶影島の間を航行中三等船客栃木縣宇都宮市松峯町當時京城唐珠洞十五菅尾信虎（三〇）は突然進行中の甲板より投身し自殺を遂げたり信虎は豫て病氣の爲京城にて入院加療中なりし處稍快方に向ひたるより同居者京都三條通西川末吉（三二）附添歸國の爲め乘船したるものと判明し其旨航海中の高麗丸に無線電信ありたるより高麗丸は九時入港するや直ちに港務部に届出で警備の小蒸汽船を現場に派し搜索中なるも屍體を發見せず（釜山特電）

◉信貴山丸は釜山に船籍がある

伊太利のゼノアからマルセーユに向ふ途中ダーブルチート附近で七日擊沈された長崎橋本喜造氏所有信貴山丸は昨年六月同氏がメキシコから購入し釜山に船籍を置いてゐた、噸數は三千零八十三噸で船長は丸山常助氏船齡は一千八百九十二年に建造したものだから二十四五年を經た中古ものである、尙ほ多くもない朝鮮在籍船中獨逸のため擊沈されたるは永田氏の永田丸が初めで此船は二艘目になる、素より保險は十分附いてゐるから有形上の船主の損失は大した事はあるまいが今後の利益を想りにした乃ち無形の損害は少くあるまい



擊沈された信貴山丸

◉疑似虎列拉か

京畿道安城菓子商猪木淸一郞妻よし（三三）は十三日朝より吐瀉し初め虎列拉の疑ひあるより同地公醫の手にて檢鏡せし處虎列拉菌に類似せるものを發見したるにぞ茲に大騷ぎとなり水原慈惠醫院より醫官出張し患者の吐瀉物及び排泄物を水原に持歸り目下檢鏡中なり

◉赤痢病益々蔓延の兆あり

西大門鐵道官舍其他に數名の新患者發生したる京城市內の赤痢は其後益々蔓延の傾向あり十三日は西大門鐵道官舍に發生し同官舍十二號の二大島サイ（四三）及び同十二號の一佐々木常盤（二四）兩名赤痢に罹り田中丸病院へ收容されたるが更に市內黃金町一丁目百八十五番地水田茂作次男政雄（三）同竹添町一丁目一番地藤崎仲之助（三六）西大門町一丁目百十八番地陣內キス（三三）櫻下洞四十二番地李元求（三二）も十三日赤痢に罹り順化院へ收容せらる

◉一千圓の詐欺 無筆を種に

元山中里一洞南敬熙方趙新榮は去月四日栗買入れのため琿春に赴く可く雄基を出發せるが途中に於て平壤府に生れ金鶴俊（二六）及江原道生れ金鶴榮（二六）と呼ぶ住所不定の二人を道連れになり身の上話を打開けながら琿春に著し西門外旅人宿朴基榮方に投宿し居たり然るに趙新榮は元來文字を解せざるより書信等は常に兩名に託して代筆を求め居たれば十二日同人琿春出發後共謀して事情を書信に依り承知せる處恰も趙が未だ琿春に滯在せるが如く裝ひ元山なる同人方に十六日栗購入に就き必要なる旨打電し七百圓をマンマと慶源郵便局より騙取し得たるに味を占め又もや三百圓を請求し合せて一千圓を懷中し兩人共に何れへともなく逃げ失せたり然るに斯る事實を露知らざる趙は雄基に滯在中其事實を確め打驚き早速警察に向け訴へ出たれば目下犯人嚴探中なりと（稍澤）

◉美しい人々の同情

病夫に死別れて淚の乾く間が無い

七月六日の本紙に『身を沈めて病夫を助く』と題し記載せる石川縣珠洲郡蛸島村上原淸三は妻はな（二五）の心盡しで總督府醫院に入院し主治醫の手厚い治療を受け、はなが神佛かけて恢復を祈つた其の甲斐なく腳氣症から心臟が破裂して

◆十三日午後病褥の上に憐はつた儘黃泉の客となつた、之れより先き病氣危篤の報に接して急遽驅付けた殊勝なはなも今は有情も無く淚の裡に美しい人々の情けで屍體の始末も立派に濟まし、十四日吾が社を訪問して厚く禮を述べつゝ淚ながらに『妾が夫を入院させる爲め奉公するやうになり明治町の小川げんと申す見ず知らずの方と旭町の溝口屋さんとが義俠心から盡力下さいまして如何にか入院させるだけのお錢の調達が出來、幸つと入院させた甲斐もなく遂に身終りました、而して

◆彼の記事が御紙に出ますと私の奉公先きなる忠南沃川邑では私の夫が元郵便所員であつたといふ緣故から別に身寄りでも何でも無い沃川の郵便所の方が二人非常に御同情下され夫れに憲兵隊の方も大層御盡力下され私の前借金に就いて御心配下さつたので私はお蔭を以て奉公先から歸られるやうになりました、今は前の關係から旭町の溝口樣の方で身の振方に就いて考案中であります』と語つた

◉疑似窒扶斯　西大門町二丁目百廿番地金道鏞妻鄭姓女（四六）は十一日窒扶斯に罹りセブランス病院へ收容せられたり

灯ともし頃

▲入京中の長澤葡萄王が十三日李載覺侯爵邸を訪問した時の話である▲侯爵邸は人も知る如く櫸や松や樅の老樹が蓊欝として日を遮つて居る主人は涼風戰ぎ渡る此の庭園の綠蔭を逍遙しながら▲葡萄王は園中第一の大欅を指して斯の樹は數百年以上の年月を閱して居るであらう▲自分が五十三年前にオーストラリヤから樹種を取寄せて播いたユーカリ樹が今は恰度此欅位の大きさに成つて居ると▲更に一抱へばかりの大樅を指して三十年ばかり前に播いた松も此の樅位の大さに成つて居ると▲米國には其んなに地味と氣候の宜い處が有るかと侯爵始め一同が驚くと▲葡萄王は自分の住んで居るサントロボーの話をした▲サントロボーは紐育から五十三哩ばかり離れた處で五十餘年前長澤氏の移住した頃は一面茫々たる荒原であつたが▲氏は其處へ二千エーカ（約八百町歩）の地所を購入して盛に植林をした處今では見渡す限り鬱蒼たる大森林を爲して居る▲氏は來客があると馬車を驅つて客と共に所有地內の深林の中に遁入つて其處に深山に棲んで居る鹿や雉兎類などを狩つて御馳走する事に成つて居る▲氏は其呼稱の如く澤山の葡萄を栽培して葡萄酒やブランデーを釀造して居るが其の葡萄酒は巴里產のものを凌ぐ位上等のものが出來て居る▲此の邊の土地は一年中氷雪を見ず初夏の氣溫と春のやうな溫和の空氣が常に草木の成長を促して居る▲氏が茲に移住した頃は百弗で買入れた一エーカの土地は今では三百弗以上に成つて居る▲今でも開墾して果樹を植ゑると一年位で實を結ぶやうになるがそうなれば一エーカ優に千數百弗を以て賣買する事が能るとの事である

讀者文藝（一等に五十錢を呈す）

△俗謠『風鈴』

○朝な朝なを風鈴呆つて客に世辭まく腓茶屋（一等）　大場　秋穗

▲團扇休めば風鈴鳴つて務めしのよか月を呼ぶ　元山　內山　淺思

▲風に凉しう鳴る風鈴が粋な客語消す情　汗浦　門脇　紫浪

【讀者文藝課題及募集規定】

△川柳「東」[illegible]　締切　同十五日　同十六日

△[illegible]　同十七日

▲募集規程　▲用紙は端書又は同形の洋紙一枚に紙上の雅號又は匿名の外に住所氏名明記の事▲掲載は一週間後▲選題の兆る毎に用紙を[illegible]

商況

債券現物特電

公債直取引

深川在米特電

東京期米特電

大阪株式

大阪期米特電

下關期米特電

雜報

◉銀價四十片臺

◉綿糸布引返し

綿糸先物三百五十二圓綿布十圓三十五錢

◉鴨江流筏減　悲樂二樣の觀

五千臺の見越

期遲て製材配給の

◉製茶は昂騰　三割方の減收

行至極好調に輸出

◉石粉製造の昨今

◉內地移入品驅逐

二萬二千噸以上　鮮內產の獨り舞臺

品質の撰擇分量制限等

京城正米

◉錐詰類漸騰

殊に少　上物一割高中物以下二割

◉石粉類漸騰

筍一箱十一圓五十錢　小鑵一大鑵一圓

品拂底

◉素麵更に昂騰　五割以上の暴騰

引上　約四五十錢方

◉白米更に値上げ

標準値を二十三圓二十錢　四十錢方

右に付五十錢方値上

南大門の廻穀

釜山穀物（十三日）

生魚市場

仁川期米

十四日前場

先二十圓十錢丁度十錢安に寄付

天候晴天の入電

大阪三節十八錢高移

四節○九錢こ安移

市場雲聞

▲此邊一服乎

正米界然期米

暴落は一向影響なし

仁川米豆取引所

十四日の九月限

田中金兵衛　電話長一六二八番

仁川海岸町三丁目　仁川米豆取引所仲買人　仲買店　電話長八三〇五番

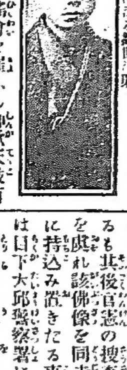
天氣　西又は南の風　曇小雨

お盆が來た

盂蘭盆會の濫觴＝亡靈の來路＝茄子と胡瓜の牛馬＝賑しき盆踊

■盆の起元は佛説に依れば釋尊の高弟目蓮の孝心に始まる、目蓮が既に神通力を得て亡母の所在を念射して見ると驚くべし母は餓鬼道に陷つて骨と皮計りになつて苦悶して居た酷き悲しむだ目蓮は
■一鉢に御飯を盛つて進せると母は喜んで食はうとして手を出すと悲しや食物がぼろぼろと燃ねあがつた盆な悲しみ深くした目蓮は釋尊に此由を訴へると十萬衆僧の力を藉つて供養せねば到底救
■一人の力では助けられぬといふ事にさらば衆僧を招き一大法會を催し遂に母を餓鬼道から救つたのが抑も盂蘭盆會の濫觴だと謂はれて居る、七月十五日は即ち四月十五日より始めた三箇月間の安居の
■戒行を了へ衆僧が之より正に各國に行脚せんとし寄々打集ひ打寛ろぎつゝ協議するの日であるからで目蓮の神通力は兎も角もとして亡母の苦悶を救ふが爲の孝心から始めた
■盂蘭盆會の事であるから誠に一の構な年中行事の一であるが田園生活とよく調和するに拘はらず都會の風俗とは餘り調和が善くないので殊に祖先を祭る事に餘り意を用ひない植民地では實際に於て
■閑却され易いのは遺憾である　此盂蘭盆會は七月十三日から十六日迄が普通で此間佛壇を清め祖先の靈を祀りて或は一家老幼相携へて墓參するのは都鄙を通じての習風で最も鄭重なのになると
■七月一日より亡靈の來路を照らす爲めに門前に松明を焚きて亡靈の次第に近づき給ふに從つて出迎への爲めに茄子と胡瓜の牛馬を魂棚に飾り百味五果に準じて素麺、團子、牡丹餅等を供へ別に柿、栗、芋、稻穗等を捧げ
■十五日には盛な僧侶を招じ供養經を讀むで貰ふ之を棚經と唱へて居る亡靈が愈來ると身心を清淨にして一家睦長幼敬愛の靄々たる情味の供物を雜蔬に示し、十六日には一切の供物を眞菰に包むで讀經しつゝ
■川又は海に流し一と先づ盆會了るのであるが農家子女の樂みは之からで『盆の十六日踊らぬ奴は木佛石佛金佛』と盆歌にある通り彼等に取つては正月よりも寧ろ無上の慰安を受る

◉故清廉師追善會


七週忌に當る觀世清廉

來る十七日は故觀世流第二十三世式樂の長者觀世清廉氏の七週年忌に當り東京家元にては此程追善の能樂ありしが氏の直弟にて多年敎養を受けし羽山尙德氏は十五日午後三時より京城日の出町常盤會の自宅にて僧侶の讀經後追善の素謡會を催ふし神歌天鼓百萬等の素謡あり清廉氏は故寶生九郎氏等と比肩せる一代の大家にて明治天皇の御前能にも常に其司會者たりしが朝鮮には去明治三十八年日露戰爭當時古市總裁の懇請にて京釜線の開通式に出演せし縁故あるは能く人の知る處なり氏の法號は德雲院觀譽峯頂和雪清廉居士享年四十有五也き

◉大工佛像を盜む

大邱府東城町二丁目大工職園崎多次郎(四三)同南旭町田中武一郎(三五)同東末吉(ヨ)同前町井川金造(二九)の四名は過般來榮州郡浮石面北村里なる古刹浮石寺の保存工事に雇はれ工事中新羅朝時代及び高麗朝時代の作に係る靑銅製の古佛像十體を竊取したるも其後官憲の搜査嚴しき爲め發覺を虞れ該佛像を同寺無量壽殿梁上に持込み置きたる事判明し前記四名は目下大邱警察署に拘引され嚴重なる取調べを受け居れり(大邱)

◉死因は毆打か

大邱尋常高等小學校生徒金吃伊(一九)は七日朝同校生徒鄭雲執(一八)と遊び戯れ居たる際雲執に背を輕く叩かれそれより吃伊は氣分惡しゝと稱し寢込みたるまゝ十二日朝に至り遂に死亡したるが同人の親は死亡の原因は毆打されたるにありといひ居たるを大邱警察署の探知するところとなり目下鄭雲執を召喚取調中(大邱)

◉鮮女轢死發見

十二日午前二時三十分頃大邱七星町刀水園裏手の鐵道線路に於て一名の鮮女脚骨及び顔面の半ばを列車に轢かれて無慘なる最後を遂げ居たるを發見せり大邱警察署よりは直ちに警官及び警察醫を現場に派し檢視をなさしめたるが同女は三十前後の乞食體のものにて住所氏名等一切不詳原因は前夜鐵道線路の傍らに眠れるを、線路内に轉がり込み轢かれたるもの、如しと(大邱)

大阪道頓堀の夜

◇曾我の家五郎一座の喜劇を觀る◇

◆あくどい色彩と騒々しい雜音に滿ちた道頓堀も、夏の夜は流石に胸を壓するやうな響きも色もない、何れも浴衣がけで水色の人の往來に白粉や香水の匂が流れる、芝居茶屋の表へは多くの氷の器が運び込まれる、何處の店も煽風器が音もなく回轉を續けてゐる、カフエーはビヤホールになり氷屋になり、噴水や人造瀑布に凉しさを見せて客を引かうと爭ふてゐる、季節の色彩の強く逸早く現れるのは盛し道頓堀であらう。

◆浪花座は新派劇を頭に小子供芝居を並べ附けるべく繪看板が上つてゐた、中座は五郎の喜劇、角座が新國劇、辨天座が三五郎の四ツ竹喜劇、こう並べられて見ると何れも敢て芝居の下りそうなものはない、居たラムネやサイダー一飲する譯ではないが夏向は衛生が第一、新國劇は云ふ名も何とやら恥を知らぬ文句のやうな厭らしい心地がする、お岩大明神も最う大分時間が遅く眠いものになつてゐる、先づ何うにか我慢の出來るものは曾我の家くらいであらうと、お名殘興行と云ふに釣られて中座へ這入つて見た

◆舞臺は第二の『鴨川染』の中幕であつた、宮川町に勤めてゐる姫と深い中の植木屋が逢はせて逃る爲めに三百圓を持て上京した女の父親が金を宿へ置忘れ途中で吊した思ひ違ひ、植木屋が途で拾ふて持て來た金なぞれたと考へ立戻して歸らうとすると植木屋の叔父が來て其金は二人を添はせる爲めに拵へ出て途中で話しかけるものと附け女の父親の金は預かりから電話で置忘れた事を知らせて來たので自ら嗜く急がつくと云ふ筋

◆五郎の植木屋流の如く眼と口とで無暗矢鱈と活動させる、眼まぐるしくて氣觸る、鰈とは云作ら興味を殺ぐこと甚しい、蝶六の父親面白く端役なれど蝶七の按摩も此者で洒妙に演じてゐた

◆第三『八重垣物語』は弱い武者修行が城中の雪姫に化けた狐を見現すと云ふ昔のチャリ芝居から出た筋、五郎の武者修行案外芝居をなす暇なく笑はかり行つてゐたによ、出來、大藏の雪姫も大難き蝶六の数と武者修行さの滑稽も可かつた。

◆第四『心の晴衣』は養子に行つて五十兩の縁談金にうつたが矢張家へ歸の女房の機嫌ばかり取つてゐる男の爲の實父が其處へ引取られて病床がつてゐると、別莊の新築祝に弟の石工が勞働者の身分で紋付で出席でもあるまいと云はれた樣に歸つて行くと云ふ滑稽劇

◆恁うした狙ひ處は從來いろいろに脚色されて演せられてゐるが矢張見た眼は痛快で面白い。當世成金氣質を諷諧し女天下を戒めたやうな處もあつて可い、蝶六の父親は何處迄も喜劇役者らしく一寸の面白味であつた。

◆第五『午前二時』は無言喜劇で蝶六の下男と五郎の泥棒が泥棒を探り合ふ滑稽なやうなもの、之に見ました。曾我の家劇は久々であるが一寸息の延い演劇味を感じるやうな印象もなかつた。五郎の厭な癖が妙に眼に殘り、蝶六の二輪加式芸がまづ笑ひの種に殘るぐらゐであつた。(大阪支局記者)

淨瑠璃たより

◆竹本雷藏太夫、錣太夫一行が朝鮮を巡業するさいふ噂がある◆過般京城館で催した師匠淨瑠璃會は珍らしい、多年稽古嗜比らべ、なつてゐる連中の事だから今更出來がよいさか惡るいさか問題にするのは野暮だ◆京城で相當に好評を博した呂昇は内地でも到る處で人氣が好い、矢張り器量の好い女義には叶はぬテ◆近頃東京の素人連間に十分會とか二十分會とか云ふのが流行してゐる、素人の義太夫は成るべく時間を短く語つて多人數出演する方が語り手と聽衆と双方の德◆京城の素人淨瑠璃も聽きに行くさ早いので三十分、長いのは一時間以上もやる人がある涼み台などせめて夏だけでも東京式を用ひれば聽者は多いに違い無い◆元山の天狗連が京城へ乘込んで來て涼み合を催すさいふ噂がある◆當地に足を留めてゐた竹本錣島太夫は近く仁川、平壤、鎭南浦を廻つて釜山に歸るそうだ

渚の砂

■廢帝の近狀　露國廢帝ニコラス第二世には御傷はしや昨今は二重三重の衛兵に圍まれ毎朝夕二回一時間の運動の外許されず頑是なき皇子女さへ運動を制限さるとは果敢なし
■御父子對面　に至ては更に哀傷の極なり正午と薄暮二回短時間に限らるゝは聞くだに御痛ましき次第也所ツアールの宮廷要倚爾蘇の悲風に包まれ新戀と舊愛と交々到る境に斷腸
■東清線の賊　哈爾賓新發行の『北滿洲』に曰く西伯利亞鐵列車が各驛に停車するや兵士の服を着たる小泥棒各車内に入込み手荷物を手當り次第に掻拂ふとは物騷千萬
■露人の小兒　哈府市中にて各店舖の雜沓に紛れ込み時計とか指環とか子供相應の品物を萬引する由露の貧民の盗きざるは啻川屋の身内のみならずスラブ族にも澤山ある也
■蒙古の子供　蒙古人は一生風呂を知らさなし其譯は乳兒の頃より凹める板の上へ寢かされ凹には砂を詰め是糞尿を防ぐ也其上に毛皮一枚落せた儘にて育つ故皮膚強靭となる爲
■密賣者檢舉　安東縣ではモルヒ子密賣の藥店四軒を檢舉したるが中に大看板の藥屋さんもあり反省を促し自覺を誡むる爲め特に渚の砂記者の情けを以て名前丈けは預置く
■娼妓が診斷　大阪松島、新町、堀江三遊廓にては娼妓に嫖客の健康診斷を行ふ事を許し疾病は登樓を拒絶し得る事を其筋より申渡さるとは奇拔、各地ともドシドシ勵行せよ

神社とお寺と教會

○聖公會集會(南米倉町)午前八時三十分日曜學校午前九時三十分聖餐式説教『キリストの榮從』一色司祭午後八時晩禱及『幻燈キリスト傳』一色司祭
○龍山日本基督教會　午前九時日曜學校午前十時禮拜説教『十字架上の告別』伊藤牧師午後八時半『樂天觀』伊藤牧師　同教會の爲めに前後五箇年間熱心に盡瘁せし牧師伊藤祭吉氏は今回辭任來る廿一日夜出發上京せらるゝ事となりたり。猶ほ來る十八日水曜日午後八時半より同牧師一家の爲め送別會を催す筈
○京城基督教會(南米倉町)七月十五日午前八時半日曜學校、説教講義宮川牧師午前十時禮拜説教朝の禮拜と特に同志社グリークラブの諸氏音樂を以て助らるゝ筈題『世に勝つの信』山本牧師午後八時半夕拜題『人生の美化』宮川牧師
○メソヂスト教會日曜禮拜會(旭町二丁目)十五日午前八時四十五分日曜學校同十時禮拜説教『靈界の要求』三戸吉太郎君午後二時聯合日曜學校生徒大會、指導者三戸先生同八時三十分傳道説教『エスの教育』三戸吉太郎君
○高野山の盂蘭盆會　新町高野山に於ては例年の通り昨十三日より十五日まで盂蘭盆に付毎晩午後八時半より法會説教都堪園向等を修すよし因みに施餓鬼大法會例の通り來る二十一日午後一時より執行する筈

東萊海雲臺探涼會

◆盛夏凉を趁ふの情切なる時◆恰も好し七月廿九日(日曜日)◆三十日(大祭日)と二日續きの安息日◆此機會を利用京仁人士一團となり◆兩社主催を以て溫泉場と海水浴場◇東萊、海雲臺の二勝地訪問探凉團を組織實行する事になりました◆往途は七月二十八日南大門驛發◇歸途は三十日釜山驛發の共に夜行列車を撰定◆二日一夜の間悠々仙境に俗腸を洗ふ事が出來るのです◇計畫、規定の詳細は逐次發表◆偏へに續々御入會の程を希望して置きます

主催　京城日報社　每日申報社

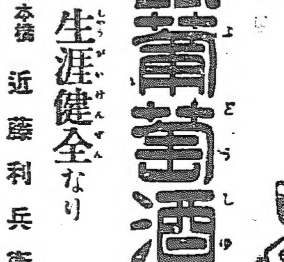
賣却品(現狀ノ儘)(鐵工業)
溶鑛爐　經四尺高十五尺外各種
スチームエンジン　十馬力　壹臺
吸入瓦斯發動機　八馬力外
旋盤　七、八、十各尺、
十噸橫起重機　壹臺
ジカルバン　五尺外
ボールバン　各種
煙突　徑壹尺高二十尺　一個
工場建坪　約貳百坪
其他鑄工鐵工附屬品及諸雜品共
總金額約壹萬圓内外
一現在使用ノ儘賣却ス
一希望者ハ入札保證金トシテ入札價格十分ノ一ヲ納入スベシ(落札者ハ右金員ヲ以テ契約保證金ニ充當スル事)
一下見　七月十六日十七日兩日間トス
一入札時日　七月十八日午前十一時
一開札　卽時開札ス
一豫算額以上最高入札者ハ直ニ契約締結向フ三日間以内ニ於テ現金引換トス
一現品一覽希望者ハ
仁川濱町　春陽館迄御來車を乞ふ
春陽館内　橘　實

致富之栞!!進呈
營業所(堂島濱壹丁目)
大阪堂島米穀取引所仲買人
今延商店
電話(北)四六八番　北四六九番　北四七〇番　四五六番
電信略號(イマ)
登錄受信略號(オサカイマエ)

目ニ見ヘテ
ズンズンキク
シユマズ
イタマヌ
井上博士ノ
ロート目藥
廿戔　十戔

宮武　テント
天幕雨覆
製造販賣
貸テント仕候
大阪北區安治川二ノ六
宮武テント商行
電長西四三四六番
振大一七一五四番

壹等割增金四千圓當
籤樂しみ有る五分利附勸業債券八月抽籤
第六十四回同一番號貳通一組賣提供す
即賣壹組金貳拾五圓
月賦賣は初回金八圓也二回より金二圓づゝ
九回拂込のみくづしうりもいたします
大阪市西區土佐堀電車停留所角
和田合名會社
電話土佐堀八二番三九五番　振替六一四八



一度親めば忘るゝ事の出來ない
この美味！　この滋養!!
誰人も召し上れ―!!
美味滋養
蜂印香竄葡萄酒
朝夕飲用せば一生涯健全なり
東京日本橋　近藤利兵衛

灘酒の明星
澤の鶴
一杯すゝりとおるところ天下一品
特約店
京城本町一丁目
佐藤牧商店
電話二九二四八番
龍山漢江通
佐藤牧支店
電話二九六番

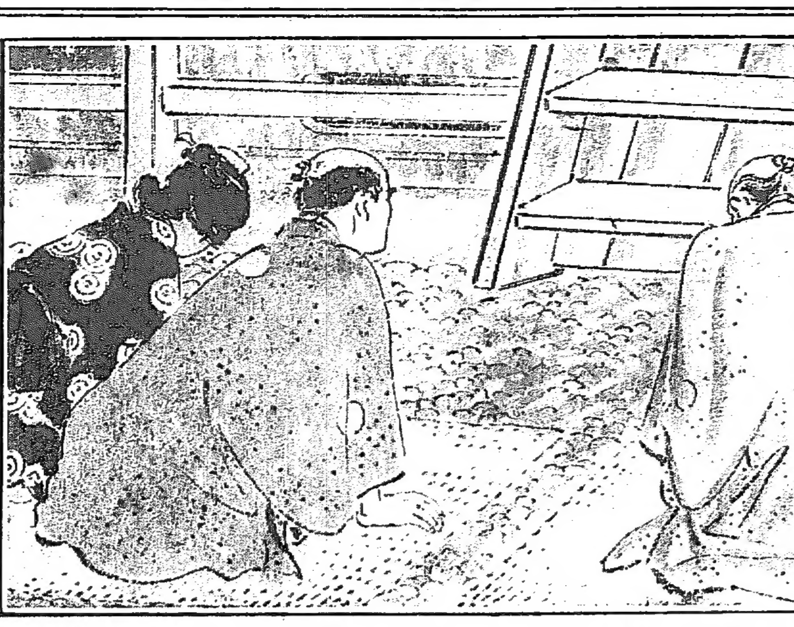
登山に第一
水となりて渇を醫し
糧となりて飢を滿し
血となりて疲を救ふ
森永ミルクキャラメル
6—28

納涼に香晶
涼しい香に心神爽快
登錄商標
香晶
結晶香水
發賣元　藤澤樟腦本舖

明君道中記

第二百六席　田邊南龍口演

名主徳右衛門の伜徳之助も子供ながら騒いで眞蒼になつて我家へ跳歸り　徳『阿父さん大變なことをいたしました　父『何だ又喧嘩でもしたのか　徳『鉈が　父『何に鉈が何うしたのだ　徳『柿の木から鉈が降て參りました　父『馬鹿なことを云ふな柿の木から鉈が降る奴があるか　徳『それでも鉈がお落ちて惣七さんの頭へ打ッつかつたので　父『何を云つて居るのだ』と云つて居る處へ柚の八兵衛が青くなつて飛んで參り　八『何うも名主様とんだ事が出來ました　父『何が　八『お宅の坊ちやんが柿の木へ上つて柿を取らうとしてお在なすつた、處へ私が來かゝりますと坊ちやんが柿を取るのだから其の鉈を貸せと被仰つて貸て上ると上に持て上りました　父『鉈なぞを貸しては叶ません、それで柿を取たのか　八『處が其の鉈を落しましたから下に立て居た惣七の頭へ鉈が打ッつかつて死でしまひました　父『エ、ッ』驚いて徳右衛門跣足の儘其場へ來て見ると、子供達が知らせたか治兵衛夫婦は其處へ來て伜惣七の死骸に縋つて歎いて居りまする最も慘澹な有様、徳右衛門は是を見るより　父『何と治兵衛殿伜の徳之助が鉈を落して惣七を殺した、何とも申し譯が無い、此の上はお前方の望み通りの事をしておくれ、俺は何んとも詫の爲様が無い　治『イヤ名主様粗忽とあれば仕方がございません、然し變死をしたのだから檢視を願つて下さる様、死骸は私共が引取ります　惣七の死骸は菩提寺へ葬りましたが、治兵衛夫婦よりして此の事を郡奉行石川忠太夫方へ願ひ出ました故、忠太夫は此の願ひを取り上げまして名主徳右衛門を呼出して取調べまする。石川忠太夫は正面に著坐をして　忠『コリヤ、徳右衛門、其方伜徳之助が過ちとは申しながら鉈を落して、それが爲に惣七が命を殞したに相違ないか　父『御意にございます、伜めが柿を取る爲に鉈を持つて木に上りましたが切らうとした機會に落した鉈が惣七の頭に當つて遂々殺してしまひました、過ちとは申しながら人の命を害めました彼の徳之助何うか御充分の御處刑を願ひます　忠『イヤ天晴なる申し分、治兵衛面を上げイ　治『へー　忠『其方の願ひ徳之助が伜惣七を殺した故是を臨刑に處して伜の敵を取つてくれいと云ふことであるが素より小兒のこと、殊に宿意があつていたしたことではない、粗忽である又惣七が徳之助を罪に落したからとて惣七が蘇生いたす譯でもあるまい、是も所謂前世の宿縁と諦め此の裁判は願ひ下げにいたしては何うじや、左様いたしたならば徳右衛門は名主のこと故此儘には濟すまい、弔ひ金として何分かの金子でも贈るであらう、其の金を持つて命日を弔ひなば惣七も成佛いたすであらう何うじや願下げては　徳『恐れながら私金子に目がくれて願ひはいたしません伜の敵を討たい爲に願ひましたので左様なことを公儀にて仰せられまするは徳右衛門の方より賄賂でも差上げるのでございませう　忠『默れ、天下の役人が賄賂に目が眩んで偏頗の處置を致すと思ふか、然らば斯様いたせ、徳之助を柿の木の下に立せ置くから其方木に上つて上から鉈を落して見ろ、其の鉈に中つて命を殞せばそれまでのこと、若し中ずして徳之助が助かれば思ひ諦めろ、運惡くば惣七の様に中つて死す、何うじや左様いたすか、　治『ヘエ　忠『篤と考へて答をいたせと治兵衛夫婦を退けた暫くして夫婦の者は相談をいたして再び其處へ罷出ました。



齒科診療
本町一丁目三越向電話一〇四七番
齒科醫士　野田應治
野田齒科醫院

外科　皮膚科　泌尿器科　花柳病科　一般
院長　安部修三
京城永樂町二丁目金光教會隣
安部醫院　電話西一一九番

うなぎ　龍山　松華　電話三二八番

強　安
タイヤ壹本壹円九十錢
チューブ一同八十五錢
耐力五千哩以上保險附
で　い
其の他上中下種々之候
カタログ切見本御申越次第送呈
大阪西區北堀江御池通六丁目二七
大阪ゴム製造所
電話西一九二四番
振替大阪二七〇〇五番
26 28吋二種あり小包送料實費申受

九星

七月十六日　舊五月廿八日己未　本命八白　艮　除　友引

▲八白● 家説に迷ふ事有日新事見合東方は吉暗劍呉▲九紫● 忠節の日吸居旅行入學名聲求職企談出 遊興賭事な守る爲萬吉▲一白● 總の戻る事有日新事手控爲事は吉萬事時にせらるべし▲二黒● 他の爲な計て反て仇とならんとす新事手控嘱事土工は新なし▲三碧● 見かけたおしの事有日新事手控爲事は吉又散財な防がるべし▲四緑● 女難失敗用心の日新事手控爲事は吉婦人と取引を忌む▲五黄● 迷惑なる頼まれ事有日新事手控爲事は吉仔借の口入等せぬがよし▲六白● 悦樂の日吸居入學企件名聲出遊求職婚姻製造業即皆吉▲七赤● 願望調の日吸居旅行商入要名聲求職醫師薬商談企件婚姻等皆吉物に勝の日

演藝案内

有樂館　早川演藝部　直營　電話（階上）四九七番（階下）二〇五番
東京小林商會輸鮮一手代理店　米國ユニヴァーサル會社特約
▲十二日より四日間公開日延なし
英國大文豪沙翁晩年の大著作　世界的名優ハーバート、ツリー卿の演じたる傑作
▲世界一の文藝史劇『マクベス』九巻
說明者　東京小林商會輸士長 南郷松公／有樂館主任辯士 久世春浦／早川演藝部各員辯士
◎活動之世界曰く『名優出演の活動寫眞劇で踏りに成功したものはない様だが此のツリー卿の『マクベス』許りは、道に新記錄を作つたものだ、何れの場面にも…

壽館　京城壽町　電話一〇九〇
▲二代目桃中軒雲右衛門一行
七月九日より毎日午後六時開演
◎日の讀物 ▲義烈百傑（桃中軒雲）▲五郎正宗（桃中軒小雲）▲關東長脇差（吉川小辰）▲御三家三男士（木村榮次）▲豐川利生記（大坂文右衛門）▲惡七兵衛景清（京山花丸）▲丸津田越前守（忠僕直助）（雲右衛門）
▼京城日報讀者は特に割引仕候

大正館　櫻井町　電話八七三
▽十五日より晝夜二回（五日間日延なし）
△資料ソンム戰爭時報
○新派悲劇『武士と金貸し』（全三巻）
△米國キーストン會社傑作○ニコニコ活劇
△佛國ゴーモン會社近作『追驅砲彈』（全二巻）△探偵活劇
○舊劇俠客尾張大八（全四巻）
○期待せられよ次回七月廿日より京城キネマ界に未だ曾て試みざる破天荒の納涼的大寫眞を！

浪花館　明治町　電話二六〇
▲浪界明星京山若圓、原晴夢合同
◎七月七日午後七時より開演
回演題 ▲寛永勇士揃（京山若子）▲東の花義經柳生旅日記（若圓）▲動功記（原晴二）▲雪の曙本傳播州皿屋敷（晴夢）
▲入場料は破天荒の勉强三等十錢二三等廿錢

黄金館　電話二六三七・六五二
天然色活動寫眞株式會社京城釜山一手代理店
△七月七日より寫眞全部取替
○幕末奇譚立志美談『錢屋五兵衛』（全三巻）
○舊劇徳川天一坊
○泰西活劇『黒胡蝶の女』（全三巻）
○泰西喜劇飛行家羽根子
▲毎日午後六時開館日曜日晝夜二回興行
▲入場料　一等三十錢、二等二十錢、三等十錢

稻荷座　本町五丁目
○竹川馬生一行再演
▲七月十日より毎夜引續き讀物
▲寶入船（竹川小春）▲櫻川五郎藏（素人祭右衛門）▲玄海の浮雲（廣澤虎光）▲關取千兩幟（櫻川粂春）▲太功記木下藤吉郎生立より古代忠臣錄（竹川馬生）
△入場料大勉强金十五錢均一　△每夜午後七時開演

アザそばかすなまづホクロ入墨イボ
等の困難の人はハガキにて申込あれ皮膚を害せず最も手軽にて其効力實に偉大なる他に類なき良劑を詳報す　東京市向島小梅町　平澤藥院

縮緬兵兒帶　勿驚極上物一筋一圓
破天荒の見切賣で評判を取つた東京市日本橋區本石町一丁目縮緬問屋谷商店が流行の魅優美高尚の水色や珍紋様の縮緬兵兒帶を處分投賣を始めたが其の光澤と云ひ手觸りと云ひ流石縮緬の本場もの縮緬の安い時同店專屬の工場にて製織しただけに質は市分な品てあつた品物も大巾一丈物先きにも七十品がタツタ三圓五十錢に大巾八尺物先に同品に四圓外タツタ二圓五十錢と云ふ諸物價騰貴の今日丸で嘘の様な品は同店馬鹿値で賣ぬ者は損也けり且つ近來の大評判品同店は地方部を設け滿一周年の記念として兵兒帶一筋の注文毎に十八金色正金代用の金指輪一個宛の無代進呈を爲すと云ふ

人體の構造は

極めて巧妙に出來て居ります。

随つて一本の齒でも、皆それぞれ大切な役目を持つて居ります。

それ故一本の齒が惡くても、それだけ健康に影響を及ぼす譯であります。

西洋の諺に『强き齒は强き體なり』とあるのは、

此間の消息を語つて居るではありませんか。

最も信頼するに足る

ライオン齒磨を

お使ひなさいとお勸めするのは、この所以でございます。

ライオン齒磨本舗　小林富次郎
東京本所區外手町
支店　大阪市東區博勞町四丁目
地方倉庫　名古屋市東區老松町三丁目

京城日報
七月十五日 (夕刊と合せて八頁)
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
發行兼編輯人 奥田直(?)
印刷人 小川三之介
電話 編輯局三四五番 營業局三六番
振替貯金口座京城三〇〇番

大阪二品特電

京城日報

支那統一の前途(二)

共和政治の價値若干ぞ

[illegible]民主主義と。左れど、中華民國建設以來、六星霜。月久しからずとせず。而かも果して共和政治、民主主義の實現せられたる實ある乎。吾人は、冷静に中華民國建設以來の經過を斷檢するに、六年間の支那は、民主國としての統一、進歩、平和を齎らし得ずして、却て其分裂、退歩、動亂を贏ち得たるに過ぎざるを見る。看よ、革命黨は、清朝を倒し、中華民國を建設し得たりと雖も、其の結果は、徒に梟雄袁世凱の野心を滿さしめたるに過ぎざりしに非ずや。袁世凱沒落以來、徒に段祺瑞の官僚政治を實現せしめたるに過ぎざるにあらずや。内亂は絶えず、事實に於て、南北分裂の勢を馴致し、秩序も進歩も共に失しつゝあるに非ずや。共和政治は空名に過ぎず。民主主義は空文に過ぎず。共和の名に於てせる武斷政治、民主の名に於てせる官僚政治の復活たるに過ぎざるにあらずや。

然りと雖も、是れ豈深く怪むに足らん哉。歐米に遊學し、日本に遊學し、泰西の自由主義を一知半解し、頻りに自由平等、權利義務、共和民主を唱道すと雖も、彼等自ら眞に能く自由平等、權利義務、共和民主の意義を解するもの幾んど希なり。滔々たる多數の民衆、極端なる利己本位、極端なる個人本位にして、國家の何物たり、憲法の何物たり、權利の何物たり、自由の何物たるを解せず、政治とは沒交渉なるを奈何せん。彼等既に國家を解せず、憲法を解せず、權利を解せず、自由を解せず、何ぞ嘗て共和政治を解せん哉。然らば則ち彼等の所謂共和政治、民主主義なるものは、空中の樓閣のみ。沐猴にして冠するのみ。假令ひ其の形式に於て、憲法制定せられ、大總統選擧せられ、共和的政府組織せられたりとするも、共和政治を運用し、其の機能を發揮し、其の效果を收めんことは、水中月を撈ふるよりも難きは、六箇年の實驗に徴し、明かに之を證するにあらず哉。

支那の哲學者たる孟軻の如きは、民主的王道主義を唱へ、歴代の儒者皆民本主義を鼓吹せざるは無く、民主的思想は、支那智識階級の思潮界に潜在するに相違なしと雖も、千百年來、黔首を愚にしたる政治の[illegible]は、支那民衆をして自主自由の思想精神を發揮するを得ざらしめたり。固有の病毒、陳々因襲して今日に至る。假令ひ革命の烈火を以てするも、一朝にして其の病毒を根本的に洗滌し得べきにあらず。況んや其の革命たる、所謂紙上の革命にして、精神的革命にあらず、其の名は革命と云ふも、其實は無意義い革命、無信念の革命たるに於てをや。所謂革命の徹底せざる所以のもの、豈に深く怪むに足らん哉。共和の名ありて帝制の實あり、帝制成らんとして、復た共和の名と爲り、復辟と爲り共和と爲らんとし、内亂に踵ぐに内亂を以てし、紛々として統一する所なき、之が爲めのみ。

鄭家屯近況

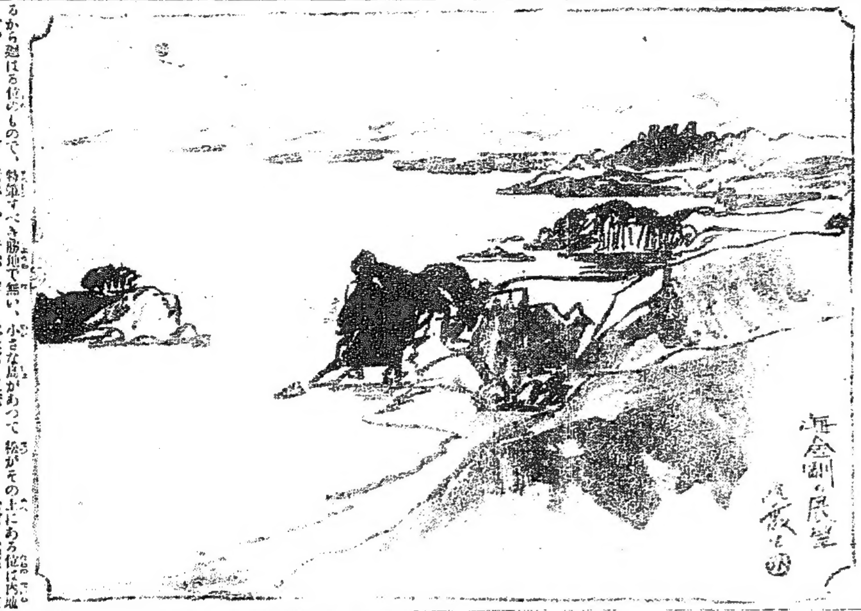
日支兵衝突問題にて有名なる鄭家屯を視察して此の程當地に歸來せる某氏の談を聞くに

△四鄭鐵道工事 四平街鄭家屯の鐵道工事は既に全線の土盛を了り軌道は八面城近く迄敷設し居れり橋梁は三江口の大橋ありて現時盛に工事中なり四平街鄭家屯間は馬車によれば二日を要し四平街を未明に發して途中八面城に一泊し翌日又未明に出發して夕方鄭家屯に著す、馬車賃は片道五圓より六圓見當なり、目下は時々降雨ある事とて道路泥濘往復甚だ困難なり

△遼河水無し 鄭家屯に入るべき要所は即ち三江口なり、同河は遼河の支流にして、平素は相當の水量あるも本年は降雨尠かりし結果涸渇して船の航行不可能となり、船運の便全く停止の姿なり、現に對岸に渡るには平常渡船によれるも現在は渡渉し得らる本年の農作不良は滿洲全般に互れるも同地方は殊に甚しきを見る、農家の言によれば目下の狀態にては平年の三四分作ならんかと

△鄭家屯の邦人 同地は蒙古貿易の中繼地として西に白音太拉、洮南府等の要衝に對して將來有望なるべきも現在は約二百四五十名の邦人居住し居れるに過ぎず家屋は何れも蒙古式に近く屋根も全部土にて塗り固めあり、昨今は農産物の出廻時期にあらざれば市况沈滯し居れるも秋期に至らば相當[illegible]

△商業は蒙古式 同地は内地の商業よりも蒙古式の露店盛にして五六町の間は蒙古人相手の日用品販賣店の露店軒を揃へ居れり、滿鐵は同地に出張所を出し貿易業者の仲介運輸、病院、農事試驗場等在留邦人の保護的事業を經營し居り又た我が領事館の分館もあり中村某と云へるは滿鐵より資金を仰ぎて設備完備せるホテルを經營し居れり、同地は比較的野菜物及び川魚等豐富なるも海魚は時に氷結として來るのみ邦人は何れも朝鮮米を常食とし四五の鐵業家(貿易商)を除く外は多く藥種商、醫師、料理屋等なり(未完)



夏の金剛山 (十一)

丸山晩霞

海金剛の展望 [illegible]金剛川に附屬されて海金剛といふ名のもとに[illegible]るもので、[illegible]から趣はる位のもので、特筆すべき勝地で無い、小さな島があつて松がその上にある位は内地で見慣れてゐる。この邊は[illegible]に行く途中の[illegible]より海金剛を展望したもので、中景の岩山は九仙峯である。この附近に赤壁川、赤壁川、未郎湖、三日浦等の名所があるが、旅人の知るところであることには略すことにした

誰 (12)

南施生譯

美那子は聲を潛めて『鈴富樣が盗賊の嫌疑ですつて?』『さうですよ、四萬圓盗つたと云ふのです』『まあ呆れた、嘘言です〳〵』美那子は興奮して手巾を引裂きながら『鈴富樣が盗賊だつて、まあ、一體何の爲に盗賊するでしやう』『だつて鈴富樣は富有ぢやありませんぜ、月給で暮す人間ですぜ』『それにしては贅澤が過ぎると云はぬばかりであつた。美那子はそれを耳にも入れず『それだつてお金はあるわ、それだのに』と云ひかけたが、不圖眼を見合はせると[illegible]としたらしく『あゝ貴方はあの方が盗賊したのは私の所爲だと思つてお在つしやるのね』[illegible]は返事はしなかつたが、眼容は『さうでしやうよ』と云ひたげであつた。それと悟ると美那子は復興奮して『いゝえ〳〵、嘘言です〳〵、鈴富樣がどうして私の爲に盗賊なんかするものですか、好な人の爲ならそりや盗賊もしませうさ、あの方は私が嫌なのよ、私嫌はれてるの』『そんな事はありますまい』『いゝえ左樣なの、私知つてるの、あの方は何とも思つちやゐないのよ、私男の心は了解る心算なの、私[illegible]あの方に嫌はれてゐるわ』『それだつたら鈴富樣は如何して居るんでしやう』『さあそれが分らないの、分つたら嬉いものよ、私も色々考へるけど如何しても解らないんですもの、あの方は心の中の秘密を顔へ出さない方だ[illegible]から、どうしたつて一體の底は分りつこないの、[illegible]可笑り方は[illegible]か、世間の人はあの方を氣の弱い人と思つてゐるけれど、さうして眞正は男の形した鐵の棒ですよ、心の[illegible]』美那子は聞く人も居ない[illegible]まで打明けて仕舞つた、[illegible]はそれを聞て鈴富の爲人を分つて來た、そして思ひ掛けぬ拾物をした事を喜んだ。

日報詩壇

○自嘲 笹岡 紫峰

十…放佚。一夜…。從心之所…欲…。[illegible]

日報歌壇

京城 西山 信大

わが友にあはれなりけり[illegible]

同 青水生

同 蘆 華

上海 芦川 月佳

京城 かづみ

百日紅 ―五の月十の日作―

句 平

[illegible]

工夫が行く枕木が運ばれる百日紅

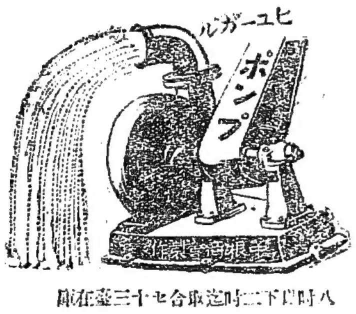
○

宿屋から使が來る百日紅に我居り 鳥 堂

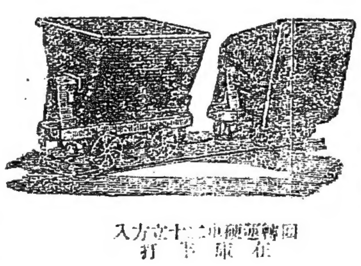
○

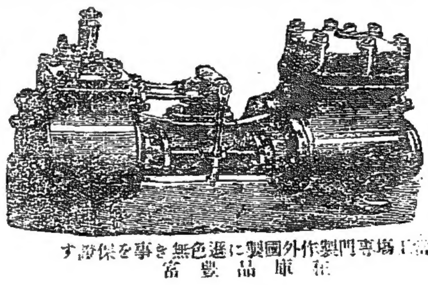
百日紅の下に手を縛す娘なりけり 目 池

立型及コールニシュ型
十數個在庫

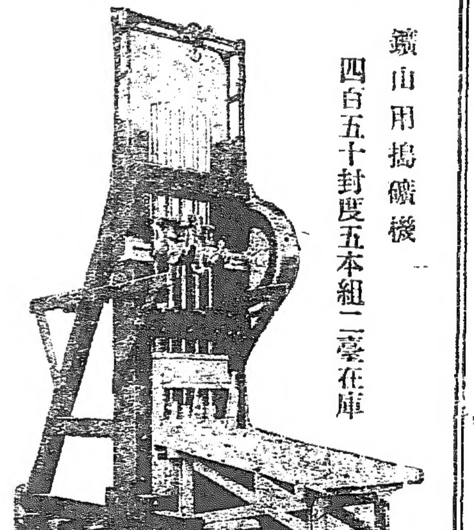


八吋以下二吋迄取合七十三臺在庫

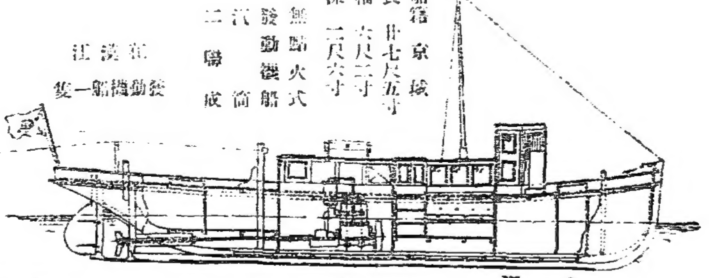

回轉運搬車二十立方入
在庫 手打


當工場專門製作外國製に遜色無き事を保證す
在庫品豐富

鑛山用搗礦機
四百五十封度五本組二臺在庫



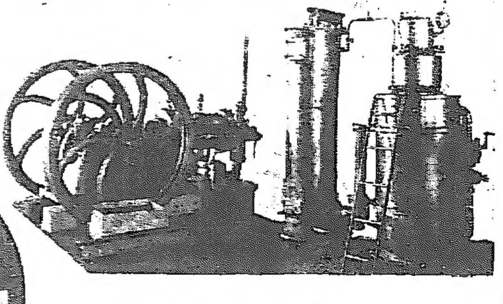
船籍 京城
長 廿七尺五寸
幅 六尺三寸
深 二尺六寸
無點火式 發動機船 汽筒 [illegible]
新造 發動機船一隻



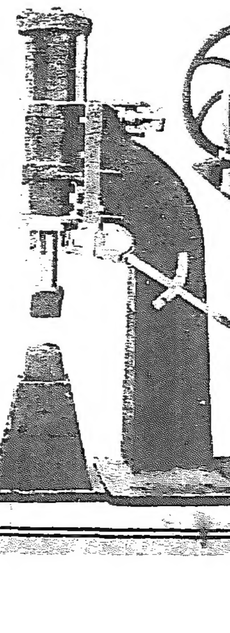
當工場の製作各種鑛山機械は朝鮮物產共進會に於て
賞牌一
褒狀三
を授與され朝鮮鐵工界に於ける最初の受賞者たるの光榮を得たり

割安在庫品
八角鋼
土工用車輪
革車
シャフト
メタル
コットン
ベルト
調帶
瓦斯管類
センバン
廿吋以下
八吋迄
八吋臺
及鐵工機
具豐富
浪板中古
品取合
一千枚

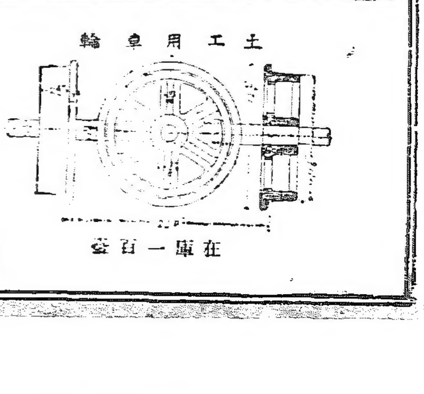
吸入瓦斯發動機十馬力・十四馬力・十六馬力各一臺在庫



スチーム ハンマー 汽筒九吋 ストローク 廿吋 ピストンロツト 四吋半

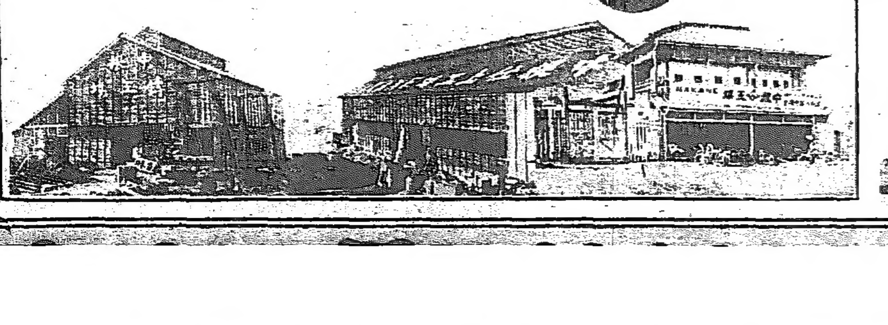


土工用車輪
在庫一百臺



朝鮮に於ける稍々完全に近き

NAKANE FOUNDRY AND IRONWORKS TEL 104-105-256 KEIJO



京城岡崎町 **中根工場** 電話二五六番

南大門通五丁目 **中根販賣部** 電話長一〇四番一〇五番

□當店は物價低廉の際輸入在庫品豐富に付先般來日本へ移出中の所船腹不足の爲め是又時日を要するを以て今回鮮内に於て一大放賣を決心し既製品の賣價は勿論加工鐵工一般の業務も廉價に御注文に應じ候間何卒御用命願上候

大阪二品特電

[illegible]

△休日越如何

[illegible]

△現物界

[illegible]

○鮮滿統一審議終了

鮮滿行政統一に關する勅令改正に就ての樞府特別委員會は十四日午前九時開會、同日を以て審議終了したるを以て近日臨時樞密院會議を開き可決せらるゝ筈なり（東京特電）

○北京總攻擊後報

日本救護班の活動＝支那人の感謝

十二日午前六時半天壇に於ける張勳氏の兵より攻擊軍に使者を出し（一）三箇月の給料支給（二）徐州へ汽車にて歸還せしむること（三）即刻武裝解除することの三箇條を提議して假停戰を申込み攻擊軍は之を容れ天壇は攻擊軍の手に歸せり、一方同日午前十時攻擊軍は二臺の飛行機を南池子の空に飛ばし爆彈を投下し午後三時前後まで各所に銃聲を聞きしも四時頃全然熄みたり南天壇方面より南池子を攻擊せる大砲に依り張勳氏邸に火災を起し二時頃張勳氏邸は烏有に歸せり此戰鬪の爲めに支那人側に數多の傷者を出し死屍街頭に累々たるの慘狀を呈するに至り又北京に在る日本醫師四名は四時より救護所を作り負傷者を救護し支那人に對し多大の好感を與へたり尚公使館附近には彈丸雨下し日本公使館の窓、壁は多少破壞され其の他一名の歩哨足部貫通銃創を負ひたる外死傷者なかりき（北京特電）

第卅九回特別帝國議會

貴族院

▲豫算委員總會

貴族院豫算總會は十三日開會第一分科前田利定子第二分科小澤武雄男第三分科林博太郎伯第四分科村上敬次郎男第五分科武井守正男第六分科稻垣太祥子の各主査各分科科經過を報告し討議に入り第一分科「今回の豫算は憲法第七條第五項及會計法第五條第二項の精神に照して遺憾の點あれば今一應親切なる注意を拂はれたし」との希望條件に對し阪谷芳郎男より「此の希望は第一分科其れ自身の希望としたし」との說ありしも第四分科の希望たる軍機の研究に就いて學術上の研究方法を採られたしとの希望條件と共に總會の希望とすることゝし全部各分科決定通り可決したり（東京特電）

衆議院（十三日）

十三日午後一時開會議長は大阪府郡部新選議員井阪光暉氏を紹介し終るや

▽大津淳一郎氏（憲政）議事の進行に關して發言を求め「議場の整理に就て議長の威信を疑はざるを得ず昨日の齋藤君の取消が議場に徹底せざりし如きは確に議長の手落なり議長は反省するを要す」と議長を攻擊して降壇するや

▽大岡議長は「小泉又次郎君（憲政）より緊急動議提出されたり即ち前日本議場にて決議案討議中高見之通君が速記臺に飛上り演壇を扇子にて叩けるは議場の秩序を破るものにて懲罰委員に附す可しと云ふにあり」と述べ

▽小泉又次郎氏（憲政）登壇「人を責むる先づ己れを責めざる可からず」とて提案の理由を說明し

▽大岡議長は動議の可否を無記名投票に問ひ

投票總數　二百二十四票
可とする者　百三十九
否とする者　八十五
函外に落ちて無效なるもの一

にて動議は否決され次で懲罰委員長小山溫氏（政友）の齋藤隆夫氏に關する懲罰委員會の報告に移り

▲秘密會の經過

秘密會となる時に午後二時

秘密會に入るや小山委員長より「齋藤隆夫氏を議院法第九十六條に依り公開の席上にて陳謝文を朗讀せしむる事とし且つ懲罰委員横山勝太郎氏（憲政）は懲罰委員會席上「齋藤君を懲罰し得る議員幾何かある」の言ありしは議員を侮辱せるものとして懲罰事犯成立せり」と述べ三木武吉氏（憲政）少數意見を代表して委員會の決議に反對意見を述べ次に高松正道氏（國民）の賛成野村嘉六氏（憲政）の反對意見あり討論終結無記名投票の結果は委員長報告通り可決し齋藤氏に謝罪文を朗讀せしむる事とし午後三時秘密會を解放するや共に休憩

▲決議案討議

三時三十五分再開齋藤隆夫氏登壇謝狀を朗讀し議長は横山勝太郎氏を懲罰委員に附する件を宣す憲政會側より多數黨横暴の聲起る斯て前日に引續き決議案討議を開く事となり

▽齋藤隆夫氏「外交調査會は國論を統一すと云ふも民意に從はずして名實叶はず現内閣は動もすれば時局の重大に名を藉りて責任を免れんとす蓋し外交調査會の成立の眞理由は第一政界に自己の位置を得んとして汲々せる一部政治家の立場を造らん爲め第二政府が議會を切抜け自己の立場を安全ならしめん爲めの外に出でず」と論ずるや政友會國民黨より罵聲切りに起る次で植原悅二郎氏（國民）津田毅一氏（中立）西六三郎氏（政友）の反對意見に對し森田茂氏（憲政）古屋慶隆氏（憲政）の賛成意見ある最後に

▽寺内首相登壇「本案は調査會が憲法違反なり、官制發布に就き樞密院に諮らざりしは樞府を無視せるものなりと云ふにあれど政府は違反なりと思惟せず政府は輔弼の全責任を負ひ將來も憲法に違反せざるを聲明す殊に書面を以て答辯せる處に政府の信は盡きたり今敢て賛せず」と述べ降壇賛否を起立に問ひ少數にて否決され兩院協議會報告に移り元田肇氏（政友）經過を報告し第二條を五千二百五十圓と修正せる旨を告げ直ちに可否を問ひ滿場一致修正案を可決し六時五分散會せり（東京特電）

十四日午前十時三十分開會、諸般の報告の後

▽小久保喜七氏（政友）登壇「憲政會の森田茂君の選擧干渉に關する質問趣意書中には余に關する誹毀に類する評問の記事あり我茨城縣には選擧は最も公平に行はれたり唯余の選擧區に於ける憲政會の海老原候補は瀆職罪の前科者たるに拘はらず加藤子尾崎君等は之を推薦せり抑も何の顏色あるか」と論じて降壇日程に入り

北海道拓殖銀行法中改正法案
產業組合法中改正法案
日本勸業銀行法中改正法案
農工銀行法中改正法案

を一括して第二讀會を開き高木益太郎氏より農工銀行法中改正法案に就て修正案提出あり、其說明をなして大藏當局の意見を求め市來次官之に答へ順次決を採りて悉く委員長報告通り可決確定

大正三年度歲入歲出總決算外
特別會計歲入歲出決算

に決算委員長石黑涵一郎氏（中立）より委員會の報告あり高橋光威氏（政友）より再審査に附する動議提出あり川崎安之助氏（憲政）の反對ありたるも議院は再審査に附することに決す

市町村立小學校教員俸給國庫補助法案
市町村教育費國庫補助建議案
義務教育費國庫補助建議案
小學校教員俸給國庫補助建議案

右四案は一括して

▽床次竹二郎氏（政友）より「委員會の經過報告あり先に其付託せる三建議案を撤回し、趣旨を同じくする三建議案を參酌して別に修正案を作成し政府も賛意を示して來期議會に其の成案を提出することに決せり」と述べ大津淳一郎氏（憲政）之に對し少數意見として宜しく建議案とせずして法律案とすべしと主張し三土忠造氏（政友）之を反駁し正午休憩

午後一時二十分再會

▽樋口秀雄氏（憲政）登壇し「教育費國庫補助は多年の懸案にして三土忠造君が政友會が始めて提唱せる如く述ぶる事は心得難し宜しく法律案としての通過を望む」と述べ、次で

▽松本誠之氏（維新）登壇し「憲政會は陛下の側近に澁かせ給ふ外交調査會に對してさへ非議を加ふるは社會主義的傾向あり」と論ずるや喧々囂々の裡より小山松壽氏（憲政）發言を求め「不穩當なれば議長より取消さしむべし」との動議を提出し議場騷然たる折柄ら松本誠之氏（維新）登壇し「予の發言に誤解なきことを望む、予は社會主義と云はず、博愛主義と云へるのみ」と述べたるを以て滿場哄笑裡に解決したり、次で

▽小山東助氏（憲政）登壇、「教育費國庫補助に就きては何人も異議なきものゝ如く但し是れが補助の最少限度を決定し置く上に法律案となすの要あり」と辭し柏原文太郎氏（國民）憲政會に向ひ法律案の撤回を求めて討論終結採決の結果憲政會の法律案は少數にて否決委員會提出の建議案多數にて可決、次いで大岡議長は貴族院にて豫算修正回附の旨を述べ日程變更附議の旨を宣す

▽高木正年氏（國民）「貴族院修正の日本興業銀行法中改正案關係の豫算削除されたり政府は同意せりや」

▽市來大藏次官「同意せり」と答へ元田肇氏（政友）自席より貴族院回附案に同意の外なしと提議し採決の結果滿場一致貴族院修正案に同意せり、次で選擧法修正案は委員長高取順作氏報告通り可決此時大岡議長は横山勝太郎君の懲罰委員長より報告ありとて秘密會を宣す時に二時二十分なり（東京特電）

●朝鮮戸稅現狀

總督府調査に依る大正六年四月一日現在全道戸稅統計を聞くに本期賦課戸數二百七十萬六千九百六十四戸稅額四十萬六千四十四圓六十錢前期賦課稅額四十萬三千六百五圓六十錢差引稅額增二千四百三十九圓極貧其他に因る免除戸數二萬六千二百三十三戸千戸當免除戸數九、五なりと

●害虫驅除情報

平北道長官の報告に依れば碧潼郡楚山郡慈城郡管内に夜盜虫發生し又平南江西郡江東郡陽德郡中原郡寧遠郡に玉蜀黍高粱黍等の被害甚しく又平壤管内にも同く夜盜虫發生し粟黍玉蜀黍稻等の被害あり道に於て發生と同時に田畑の周圍に溝を掘り之を墜落せしめ刺殺しつゝあり

●吉田副官出張

京畿道警務部副官吉田大尉は管内各警察事務視察の爲め來る十七日出張の筈なるが往復十日間の豫定なりと

●早稻田大學校友會

在京早稻田大學校友會にては今回入京の同大學野球團歡迎の爲十七日午後七時より長谷川町銀行集會所にて歡迎會を開催會費二圓當日持參すべしと尚ほ在京校友多數の出席を希望する由準備の都合あれば出席者は前日迄に南大門通り朝鮮新聞京城支社大西義夫君宛通知されたしと

●東拓改正法案の通過（上）

會社の事業能力は大に擴大さる

東洋拓殖會社理事　川上常郎氏談

東洋拓殖會社法中改正法律案は十三日の貴族院本會議に上程衆議院の修正通り可決確定を見十月一日より之れを實施する事となりしが右に付同社理事川上常郎氏を訪ふ、曰く今日迄東拓は其の

▲事業成績が擧らないなどと色々の世評を受けてゐた、然し之れは必らずしも予等の前任重役の責めのみでない、前重役の諸氏はいかに朝鮮拓殖のために相當な事業を經營したいと思つても東拓法は其事業能力に制限を加へ多く認めて呉れなかつたのである、乃ち舊法の定めた業務範圍は

一、農業
二、拓殖の爲必要なる土地の賣買及貸借
三、拓殖の爲必要なる土地の經營及管理
四、拓殖の爲必要なる建築物の築造賣買及貸借
五、移住民及韓國農業者に對し拓殖上必要なる物品の供給
六、移住民又は韓國農業者の生產又は獲得したる物品の分配
七、拓殖上必要なる資金の供給

であつて最も肝要な拓殖上必要なる資金の供給は大約そ移住民の貸附、不動產の貸附、生產品の貸附、二十人以上の農業者が連帶して債務を負ふ者に對する無擔保貸附、農工債券の引受等實に極めて狹かつたのである、然るに今回の東拓法は第一事業の範圍を舊法で韓國内と限つてゐたのを朝鮮及び外國と云ふ事に擴大し、業務範圍は左のやうになつてゐる

一、拓殖のため必要なる資金供給
二、拓殖上の移住民の募集及び分配
三、移住民のため必要なる農業水利事業及び土地の取得經營管理
四、移住民のため必要なる建築物の築造賣買貸借
五、移住民又は農業者に對する物品の供給及び其生產物品の分配
六、委託に因る土地の經營及び管理
七、其他拓殖のため必要なる事業の經營

之れだけでは第六項の委託に因る土地の經營及び管理が新らしい位で無論大した異なりはないのであるが拓殖資金の供給方法は著しく從來と面目を革め同じく不動產の貸附でも鐵道工業權とか不動產上の權利を擔保とする貸附とか其の範圍は非常に擴まつた、殊に移民取扱業其の他

拓殖事業を營む事を目的とする會社の株券又は債券の應募引受け並に同上

▲會社の株券又は債券を質とする五年以内の定期償還に因る貸附云々の如きは新らしく設けたもので、之れが會社の資金供給に對する目覺しい進出先である、

▲經營可能の範圍を舊法で韓

●价川輕鐵不通

平南价川輕鐵は十三日朝來豪雨の爲線路浸水し列車運轉不能に歸せり

●高師女生旅行日程

十四日入京不知火旅館へ投宿せる東京女子高等師範學校職員生徒一行は朝鮮視察の上滿洲に向ふ可くその日程は▲十五日仁川觀察▲十六日京城觀察▲十七日午前九時十分京城發平壤に向ふ▲十八日平壤出發安東縣に向ふ一行視察の目的は教育にあるは勿論なるが特に地理歷史等の教材に注意を拂ふ由なり

人事消息

▲馬上博士　十五日入京京城ホテルへ
▲關野貞三工學博士　十五日平壤より入京巴城館へ投宿の筈
▲石井入作氏（日本銀行員）　十四日夜入京朝鮮ホテルへ
▲シーボルト氏（米國駐華大使館）　同上
▲木戸萬寶三氏（三井物產社員）　十四日夜出發東京へ
▲宋秉畯三郎氏（東京消費組合長）▲陸軍師氏（同）十五日出發歸京の筈

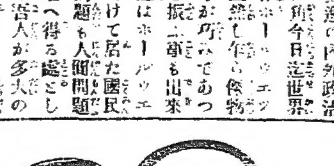
■南言北語■

獨逸の内外政治は今日迄世界を單獨で背負つて兎に角やつて來たがアツと云はせた宰相ホールウェッヒは傑物に違ひない▲然し俾斯麥は傑物として誤魔化しが巧みであつたから先づ充分の腕を振ふ事も出來たのだ▲獨逸の今日迄はホールウェッヒがだまけて居た國民も案外よりもだまけて居た▲獨逸の食糧問題も人間問題もそれは獨逸國民が堪へ得る迄として總に押を始めから吾人が多大の疑惑と注意を以て見て居たのは宗教問題▲何の時か此の問題が飛び出すかと思つて居た▲飛び出せば社會黨の騷ぎなどの類ではない▲之に對して獨逸當局者は何うするのだらうと實は待ち兼ねて居たのであつた▲處が果してポツ〳〵頭を揚げかけたらしいからサア面白い▲加特力黨の大將分のエルツベルグルが眞ツ向から宰相と海相の間にヒンデンブルグを擔ぎ上げて突撃したのは近來の大事件だ▲其の連中も飛び出した▲獨逸の爲には戰線よりも此の方が大切になつて來た▲ソロ〳〵桔梏の樣に内側から吹き出して來はせぬかナ▲國民の希望通り普魯西には普く選擧法を布いたらしいが之で見ても案外危機が切迫して居るのではなからうか▲今度誤魔化したら其れこそ最う手が著けられまい▲其の樣に採て居る眞中聯合軍の飛行機は獨軍が命と賴むクルップ會社を四分の一程打ち壞した▲泣ツ面に蜂とは之れだ▲鳥渡世界を見渡して見ると一時は我慢横暴で得意だつたがソロ〳〵足元の危なくなつた人が二人ある▲遠方ではカイゼル近い處では張さん▲大抵人間も足元の明るい内に何とか考へねば二進も三進も動けぬ事になるのは當然▲不能の文字を笑つた奈翁でも遂に不能で終つたではないか▲其れも窮して通じ死して生の道ある連中ならまだしもだがネ▲と云へば窮して通ずるはソツと潜航艇戰で死して生の道あるはソツと公使館に逃げ込む事だと云ふかも知れないヤレ〳〵

簿記募集
大正六年新學期
私立日本簿記專修學校
京都　紅清號ニ注意有

八丈島特產　精撰椿香油
牛乳二優　國華石鹸　關西特約店
みやこ紅　白粉　都の雪　本舖　紅清號

移轉廣告
業務擴張の爲め本町一丁目（元日下部漬物店跡）へ移轉仕候
京城本町一丁目四十七番地（元店より西へ半町）
美術貴金屬品製作　高木金細工店
電話九九〇番　振替九〇一番



皮革
精米研磨革　綴革　動力帶革　靴原料　青象本底
釜山大廳町一丁目　三星商會　電話長七八〇番
▼精米研磨革及青象本底は他に比なき最良品なり▲

◎タッタ一ケ月五十錢の拂込で六通の債券の抽籤權利がこれ完納すれば大割增金附き勸業額面拾圓債券が手に入る
年中十二月くじを見る事ができる西白債券購入法最初十円券一口購入すれば申込金五十錢を第一回掛金五十錢と御拂込になれば直ちに六通債券の抽籤權利附債券番號記入の引換證券を御送り致します其後は毎月五十錢完の掛金で債券が買へます
京城府長谷川町振替京城三五七五番日本勸業銀行債券月賦販賣所

▲開店披露
十五十六日二日間開店披露の爲めサッポロビール半額一本に付［十五錢］其他洋食氷類精々勉強仕候
京城櫻井町大正館前
五木庵出店　サッポロビヤホール
電話二三〇六番

内科　小兒科　婦人科　眼科
二元堂醫院
京城南山町二ノ四六（三越合宿所上）
電話一壹二四番　小山亨

○孟督軍彈劾さる

○黎元洪氏近く復歸

●博多丸馬耳塞
即死百餘名負傷者數百名を出し光景慘憺を極む（倫敦電報）

天津に於て國會議員の大會開催せんとしたるも國會を排斥さる十三日吉林に赴任したる吉林省長の一派は孟督軍の態度を探り其言明失墜に乗じ段祺瑞氏に宛て彈劾書を送り尚代表者四名を北京に向はしめ排斥運動を開始したり（大連特電）

鳥の羽毛は何よりも艶麗

◉朝鮮で産出する鳥毛の利用◉

朝鮮が鳥の産地である事は前に述べたが、世の中が開け狩猟が盛んになるに從つて内地の如く鶴や鷺の如き美しく珍稀なる鳥は漸次絶滅するか又は他に去つてしまう、さうなつては少なくならぬ中に之が保護蕃殖を計る事は必要である。現今本校に於ては是等の鳥の集中であるが、而して商人の眼にオホト、ト云はるゝ十四枚ものゝ、テウセンオホワシの尾羽で作つたものは最上等で一組四本六七圓もする。次に尾羽十二枚ものゝ、ッスピヨツ（ヲジロワシのこと）イヌワシ、カス（ヲオジワシの幼鳥）と順次に悪くなる、朝鮮では雉の翼羽で矢羽を作る

◆羽帯團は諸鳥類の小羽毛を集めて製し、海鳥の羽毛を集めて製す

羽毛は保温性があるから寒國の衣服に用ゐられる。嗽かいから大に珍重せられ價も高い殊に鶴の羽毛で作つたものなどは最上等の部類である、鵲の羽毛では普通陸揚げ軍隊帽の装用の帽子の飾り等にせらる、尚羽毛は近頃羅紗の中に隨分織り込まれ鷲鷹等の大形の鳥の羽軸で卷煙草の吸口を作る、尚西洋では高級鶏の羽毛で扇を作るとのことである。好事家の間には米鷲の小羽毛を盆景の砂をイヤくるに珍重して居る又耳掃除につかつて居るのは細い竹の先に鷺類の綿毛をつけたものである。玩具にも羽毛が利用せられ巧妙なものが出來つゝある

♣鳥の長骨は多くは

中空であるから夫でパイプを作り箸を作り簪の柄にし又長骨を割つて磨いて金蒔繪などを施して綺麗にして居る。尚大形の鳥の筋肉の先につけて脆で徳楊子を作ると妙である。鶴の脚はステッキに用ゐられ鷲の爪

♣支那には鷺の尾羽

で作つた羽扇が流行し夫が爲に毎年盛んに之の方に行く程である。次に丹頂鶴の主に腹部の純白の羽毛に燦爛たる羽毛を曲げ夫を組合せ中に造花の蕊を入れて花を作り之を造つても實に美麗で光澤があつて造花で作つたものゝ比ではない

したもの、或は細工物その他に用ゐらるゝ

♣尾羽若くは風切羽

が用ゐらるゝ。左下隅にあるは蟻蟲捕え用に使ふ羽で普通雁鴨の翼羽が用ゐられ、矢羽は鷲鷹の尾羽で作つたものが珍貴せられ殊に其等の

種々の色に染めたら實に中分無いものである。（鍍點羽）其の他リボンに鶏の新毛を以て自分の樣に配して少女の頸飾りを作る。右下隅にある鵞毛の實用向として上等の羽毛は帽子等に用ふる。其の他羽箒を作るものは純白な鶴の風切羽若くは風切羽で普通鷺鷹其の他の鳥の

には玩具の材料に作らるゝなど、なかなか種々の利用法があるものである、元來東洋人は一體に獸類の毛皮や鳥類の羽毛を裝飾品とし又實用上にも用ふる事は少ないが西洋にはなかなか多いのである、故に種々と工夫して見て西洋人の嗜好に適する樣にし盛んに輸出向を作つてもらひたい（森爲三氏談）

◎聯軍飛機獨工場を襲ふ

聯合軍飛行隊は六日夜獨逸クルップ工場を襲ひ工場の四分の一破壊され

◎同志社大學演奏團來る

十六日夜京城基督教會で開演

米國の諸大學では學生達が組織して居る唱歌團をグリークラブと云つて休暇には各地方へ演奏旅行に出るのが例になつて居る、我が國では同志社大學、東北學院、關西學院、神戸高商等がそれぞれかなりなクラブを持つて居る

◆同志社大學

グリークラブは三十五名の部員から成つて居て校内及び市内のみたらず春秋には神戸、大阪、名古屋等へ出懸けて演奏會を開いて昨年京城にも見えた事木兒先生や小倉末子孃と同じ壇上に立つた事もある。此の夏は滿鐵慰問部の招聘により

◆四部合唱團

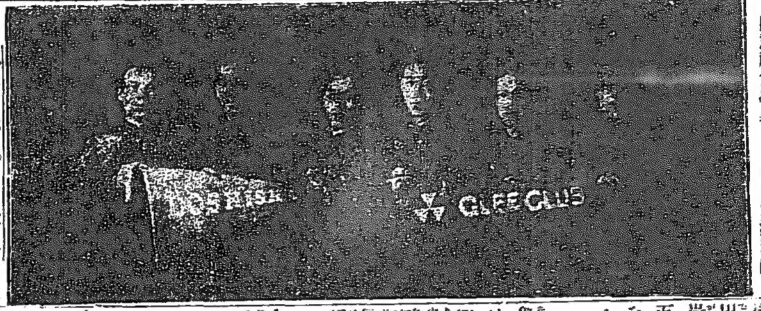
と伴奏者と獨唱者一人と一行六人が三週間の旅程で演奏旅行に出る事となつた。曲目は小、中、女學校等で用ふる歌を男聲四部に編したもの。米國學生歌又所作の入つた喜歌劇的なもの及び多少込み入つたもの等の中

◆各地で喝采

されたものを持つて來て居る。中でも『コールジョン』と云ふのは名古屋で四度も『アンコール』されたと云ふ歴史附で關西では同志社グリークラブと云へば『コーハジョン』を思ひ出すと云ふ獨特のものである。他に樂器の眞似の入つた『サム小父さんの茶話會』たとか『三つの盲目鼠』など面白きて學生の合唱團でなくては

◆聞かれぬ曲

がある。一行は『運動家で無くては歌は歌へぬ』と云ふ確信を有て居て三名は同志社中學部大學部を通じて數年間野球選手であつた。それで『無邪氣で快活』がモットーで、ある。京城に於ける第一回の演奏會は七月十六日午後八時半から京城敎會主催で南米倉町京城基督教會で開催され會費は五十錢と三十錢であつて其の演奏曲目は米國學生歌所作入滑稽歌歐米民謠小中女學校唱歌である



同志社大學グリークラブ演奏團

◉傳染病は口から這入る

赤痢と腸窒扶斯が流行り出した

每年六七月の候には傳染病が流行する本年も昨今京城では腸窒扶斯と赤痢が稍流行の兆が見ゆるが例年よりも幾分多い模樣らしい。之れに就いて當局の意見を聞くに

▽傳染を防遏

し傍ら豫防の手段として先づ氷雪類や淸凉飲料水の取締りを一層嚴重にし宿屋、下宿屋、飮食店、獸肉、魚類の販賣業者、菓物、魚市場等のやうなすべて口に入れる品物を取扱つてゐる商賣柄の品物の檢査と取締りとを眞先きとして飲料水や井水の水質の分析と檢査、牛乳、酒類等の飲用品の容器と其の殺菌物の有無の檢査、活動寫眞舘や劇場内で仲賣りをする飲食物、其れから下水溝や塵芥箱の浚渫を取扱ひ

▽未熟や腐敗

に近い果物類の拋棄、塵芥箱や厠所に石灰の撒布等種々の方面に手を配つてゐる殊に生魚を取扱ふ家では其の魚腸を特別の箱に投棄するやうにすることゝ一般防蠅の設備、殺蟲劑の撒布勵行など市内各警察署では此の傳染病を向ふに廻して實戰中の姿である、そこで腸窒扶斯と赤痢とはどちらも口から這入ることは言ふ迄もない、而して其の

▽病菌は排泄

された便中にある窒扶斯の方は尿中にもある患者が一旦恢復しても病菌は永く體中に保有され其れが爲め快癒者から傳染されることもある、尙患者の體や身邊、便尿等を取扱つた際は必ず洗

▽汚物が混入

して居るから必ず一回煮沸すること、煮沸して長時間經過したものは危險だし、野菜や果物を汚水で洗はぬことと買つたら洗ひ直して煮ること、生食ひは甚だよくない、其の他腐敗に近い物や不消化物又は暴飲過食は身の破滅の因で腸胃病に罹り易い、サイダー麥酒のやうな炭酸水は下痢し易く、冷ねば腸胃を弱らせる

▽小兒は腹卷

きをすると其の蚊帳に鼻口を蠅からやられぬやうにすることが肝要、蠅の脚には數萬の黴菌が附いて居る、不潔の場所に盖をすることと消毒劑を撒布することと各戶に捕蠅器を備へることは傳染病を防ぐ唯一の武器であると

滌することと消毒すれば尚よろしい、井水には地中から浸透した汚水の危險なことと、

◉大同江益々增水

平壤市中の混雜

大同江は前報後益々增水し十四日午後七時迄の報告に依れば江東郡の出水二十三尺に及び又平壤の江岸は同午時十九尺八寸に達し此の上五尺增水せば市中に浸水を見るべきを以て市中は非常なる混雜を極めつゝあり（平壤電話）

▲京義線復舊

既報京義線の不通個所良策、批峴間は其の後應急工事を急ぎたるため十四日午後六時復舊開通したるを以て良策に停留しゐたる十三日午後九時南大門發列車及び十四日午前九時發同急行列車共に午後六時北行し又批峴に停留しゐたる安東縣發南行列車は十四日夜直ちに發車したるを以て十五日午前四時及び午後三時二十三分不繼を通過すべき列車とも平常の運轉復舊したり（平壤電話）

◉安東縣の豪雨

多大の雨量

十二日夜來の豪雨にて鴨綠江は約九尺の增水を見たるが十四日正午過ぎより稍小降となり天候恢復の兆あり雨量は十三日午前三時より十四日正午迄の雨量は三百四十三粍にて一坪に付き五石三斗六升之れ實に龍岩浦測候所開設以來の最高雨量なり尚京義線は所々に出水を見批峴良策間の線路破壞し列車不通となり十四日朝安東發南行列車は批峴より引返し又十四日朝安東に着す可き北行列車は良策に停車中なるが十四日中には復舊の見込なり（安東特電）

◉京城神社大總代會

京城神社にては十四日午後七時より社務所に於て大總代會を開催し左記の件を協議せり

▲明治天皇五年式年祭執行の件 ▲龍山御旅所設置に關する件 ▲渡御大祭に際して御神幸御道筋變更其他大祭に關する件 ▲氏子總出金各町割當標準に關する件 ▲從前よりの慣例に依る京城神社規定改正の件 ▲鳳輦購入に付報告

◉鐵道局職工

賃金値上要求落著

朝鮮鐵道局龍山工場職工の一部が賃銀値上の要求運動をなしつゝある由は既報の如くなるが其後の經過に就き聞く所によれば鐵道當局者間に在りては之れが善後策に關し凝議の結果豫算の關係上此際到底容認することは能はざるより該工場の職工長を召め二三勢力者に對し事情を說示し結局其要求を撤回せしめたりと

◉面長放火事件

慶北迎日郡滄州面居住の安鎔奎（三六）は滄州面長として就職中去る大正四年一月より昨年十二月一日まで數回に面民より徵收し保管しゐたる地稅其他の公金三千九十八圓五十錢四厘を橫領費消し其犯跡を蔽はんがために未支拂ひの面經費を支拂ひたるが如くにゐた

り其犯跡を湮滅せんとし昨年十二月十二日夜面事務所に放火して事務所及び書類を燒棄せしめたる事發覺し浦項憲兵分隊に捕はれ又大邱地方法院にて豫審中なりしが愈豫審終結し橫領及び私書僞造行使放火として公判に附せられたり

◉賭博から毆る

慶南咸安郡代山面長岩里農趙辰奎（二七）同姜用龍（二七）の兩名は去月十六日午後二時頃宜寧郡芝正面馬山渡船業許又致（二七）と共に賭博の事より爭論を始め趙姜の兩名は許を毆打し或は頭髮を引摑みて引倒し胸部を土足にかけたる上棍棒を以て打のめしたる結果許は遂に急性肋膜炎を起し治療中それが因にて同月二十六日死去せしかば許の兒致周は其筋に訴へ出で目下加害者の行衞捜査中なりと

◉マクベス好評

有樂舘に於いて映寫中なる文豪沙翁のマクベスは引續き好評にてその映畫の鮮明なる技術の巧妙なる撮影振りは日本物以外に見るべからざるものありて敎育の見地より殊に價値ある映畫なり尚此作は低級の見物には餘り受けざれども智識階級には一般に歡迎され居りて上演中面白き評判と共に理解されつゝあり

◉大正舘　十五日より新寫眞を差替ふる由其の主なるものは左の如し

▲實寫ソン▲飛行機時報▲新派喜劇武士と金貨全二卷▲ニコ〳〵活劇追跡砲彈全二卷探偵活劇『手』全三卷▲喜劇俠客尾張大八全四卷

◉壽舘　目下開演中の桃中軒雲右衛門一行の語り物左の如し

▲義列百傑（清玄）▲五郎正宗（出雲）▲關東長脇差（小辰玉）▲御三家三勇士（榮次）▲豐川利生記（文左衛門）▲赤穗義士傳（花丸）▲丸橋忠彌（雲右衛門）

◉山村都紀子一座　女俠山村都紀子を座長とする新劇座一行は目下群山地方にて興行中なるが來る十七八日頃壽座に於て開演すべく今後新劇の外日本新しき歌劇をも觀覽に供する由

鮮鐵が滿鐵に經營を委託されても殆んど名前が變る位で大した變動も影響もないやうだ▲早い一例が執務時間まで滿鐵は年中午前九時より午後三時までと云ふ制度だが引繼がれた鮮鐵は官廳同樣の勢務で夏は矢張り正午退出となるさうじや▲變りまして東拓會社の東拓は去年重役が入れ交るまでは勤務時間も官廳同樣だつたが重役更任後午前九時出勤午後四時退出を原則としてゐる▲暑い今日此頃は午前八時より三時までにきめられてはゐるが何しろ忙しいので四時までも五時までも大抵ゐる▲コイツは去年までの方が有難かつた哩と某社員は凝凝の快さを追憶ふやうに話してゐた

家畜の數　（本年）十二月末日現在家畜及び家禽數は牛牝四十一萬二千二百四十頭牝九十四萬八百六十八頭計百三十五萬三千局四百二十三頭の減少を見たり豚及鷄は各道共に良好の成績を表はし即ち豚の改良種及び其雜種は二萬二千八百八十九頭にして前年に比し七千五百九十五頭卽ち約五割を又鷄の改

船博多丸は馬耳塞行臨時船として十四日神戸を出帆したるが香港技術者や乘客民は歐洲航路の現況に恐怖を

懸賞尋人

一、七里幸一　明治十二年十一月生　大阪府平民

特徵　目下大なる方　眉濃き方　丈普通

一、明治二十九年九月以降十月五日頃迄岐阜縣土木課隅前傭入見習たりしことあり
一、同縣御用受負人岐阜縣生池太（盃 敎街師月樓主人）の扱に係る傭人
一、同年十月八日頃南投縣下埔里社に向つて出發したり
一、其後の消息不明
一、右本人の現住所を突留報知せられたる方には金千圓を呈す
一、又死亡年月日及其場所を的確に通知せられたる方には百圓を呈す
一、其他捜索上の便宜（例へば當時同人と同居せる者の通知）又は其後の消息を的確に通知せられたる方へは金十圓を呈す
一、期限大正六年九月三十日限
一、通知先は大阪市南區天王寺松ヶ鼻町五四七三番

安藤外苑

見落せし人はなきか!!不再來
初日以來引續き滿員御禮

MACBETH
沙翁晩年大著　マクベス　全九卷
愈々本日限り（日延なし）

早川演藝部直營　電話二〇五。五九七番　有樂館

謹告

原料騰貴の爲
花王石鹸
壹個ニ付壹錢値上仕候

花王石鹸の製造に就ては豫て高價なる原料を蓄積し、漸く今日迄の御用に應じ時局の影響を見るの時に際しても出來得る限り價の調節を計り、以て多年の御贔顧に報いんことに苦心致し居候ひしも、如何せん時局の遷延と近來著しき需用激增の結果、既に騰貴の原料も拂底と相成り、今回遂に値上實行の已むを得ざる場合に立到り申候。尤も前述の次第に候へば縱ひ今日一錢の値上となるも決して廉價の良品として愧づる所には無之、此の段何卒御賢察の上相變らず御同情を以て御愛用を賜り度、偏に奉懇願候

七月八日

花王石鹸本舖
東京馬喰町　長瀨商會

花（五五）
松田竹の島人作

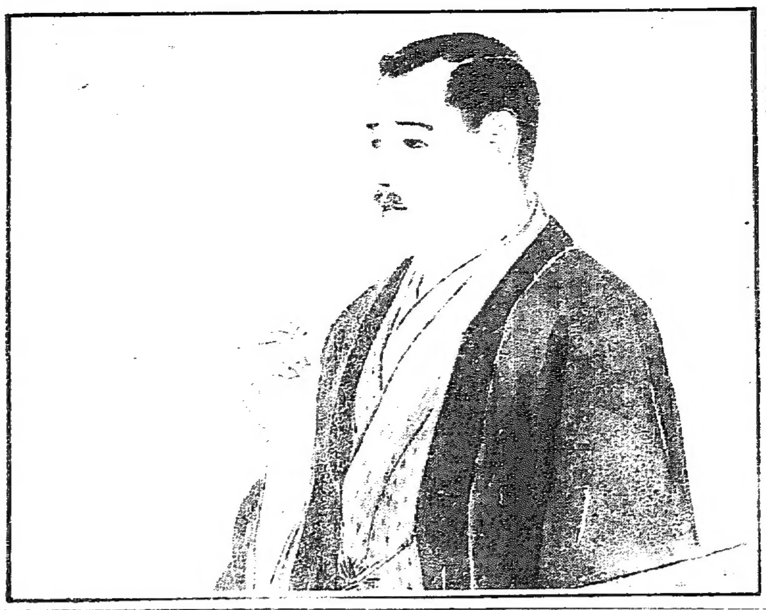
田淵は、歩調口を噤んで、何にか答へ込んでゐたが、態と首を縊げ

「有繋お豊さんだ。よくおとつさんに然う言つてくれたですね。

若しお豊さんのおとつさんから、確しく秘密でも運ばれて、外に引っ越されても為ると、折角達が分つたのに、復分らなく成るかも知れんからね。早く田淵が見直てはあるけれで何にか役に立つの。」

「然うですとも、[illegible]親父に埋よく言つてもたんですよ。」とお豊は得意らしい。

[illegible]



「兎に角今から、お前の家へ連れて往つて貰はう、然うして早見に逢ふ事にしやう。」

「だつて不潔い家ですよ。」

「不潔いたつて構はんぢやないか。」

田淵が早見に逢はうと、お豊が一緒に出掛けるのは、狡智に長けた彼が、何にか早見を利用する意ではなからうか。

郷に帰つて田淵は、外出の衣服羽織を出させて、著替へたが、黒紹五ツ紋の羽織を著て、絽縮緬の兵子帯に、時計の金鎖を巻きつけた風采は、一流どころの紳士とも見えて、立派であつた。

田淵は外出の支度が出来て、先づ机の前へ坐り、巻煙草を喫ひ出した。

お豊は、既に愛撫を揃へて、「田淵さん、爰ぢや未だ御飯前なんですから、何處かで饗應つて下さいま[illegible]

が、最う日は暮れ切つて、街路の電燈が、江戸川堤の流に映つて見えて居た。

二人は、江戸川終點から電車に乗つて本郷へ往き、或る鰻屋で夕食を済まし、そして金助町のお豊方へと往つた。

お豊が嘉七とお吉とに、田淵は[illegible]な身分の人で[illegible]

二人は田淵を下へも置かぬやうにして、鄭重に扱うて、茶や菓子を大騒ぎであつた。

嘉七が改めて、お豊が世話に為る禮を述べると、田淵は應揚に構へて

「此方に早見さんと云ふ男が居るさうですが、[illegible]其居處を[illegible]

ところが、先刻お豊さんが來ての噺では、此方の二階を借りてるのださうで、[illegible]何か分らんと[illegible]

「三月前に、ひよいと自宅の二階に[illegible]ので御座いまして、[illegible]

嘉七は、早見を田淵の親友と聞いて、[illegible]褒めるやうに、[illegible]

◇代議士の妻　櫻井兵五郎氏夫人

[illegible]

◇小説家の息子　小説家廣津柳浪氏の令息で新進評論家の和郎君

[illegible]東京へ移らうと云ふ[illegible]し和郎君の身に取て[illegible]事を思ふと何うして[illegible]かしないで鎌倉中を[illegible]たのが材木座附近の[illegible]氣の離がる父君を[illegible]其處に移つた併し細[illegible]位では何うもならぬ[illegible]山羊の乳、近く試み[illegible]て見て父君にも勧め[illegible]人に幾何かでも激く居る

年期刺繍弟子十五名募集

京城旭町一丁目　ゑり治商店　電話二五六六番

□朝鮮の留學生

法科へ女は宗教的學校へ[illegible]男は實業の方へ、又女は女醫學校へ入學するやう[illegible]鑑が男子は付うを[illegible]法科へ入學して希望とは反對である。其理由は若し卒業しても實業の方は大資業家がない爲めに就職に困難であるので就職は樂だ。それと最一つは元來朝鮮では數學的よりも漢字を多く讀んで居るので修業するにも法科などの方が樂である此二點から實業方面へ行く者が尠い、女も女醫學校よりも外國人の宗教的の學校へ這入る者が多い。これは語學を割合早く覺えるからである。御女醫校に入學を勸めるのは、現在でも朝鮮の若い女は男には假令醫者にでも手を觸れさせないといふ習慣が殘つて居るので、年々女子の病死が多いためこれを救ふ爲めださうである

□一日一句

くちなし入花アカシヤ門の朝日　烏兎

ものゝ芽出し鉢引越しの上荷の白　紅

廟見に來る蝿多き村なりき　浩一郎

教室に我一人ある蝶々かな　紫山子

小雨終日無爲に我居り梅實落　瀬村

□鷄林同人會詠草

老人　坪内孝

日あたりにむしろをしきて老人がおいのすさびに魚の網すく　松田甲

虎をかりしこともあるをさ老人は汽車の窓より遠山を見る　一岡忠孝

跋渉もきゝしむかしのものがたり新しげにもかたるおい人　佐々木信一

たよるべき人もあらぬか荷車のあとおすおいのちからなげなる

系車くる手もおそき老人がわざこそあすのたづきなるらめ　佐々木信文子

讀者の領分

▲安上りの納涼法といふのは電車の入口に立つて京城は愚か龍山の果てまで廻つて見給へ乾度涼しくなる事は受合申す但し掏摸と間違へられぬを御用心召され（實驗生）▲「誰」の秘密の鍵は僕は柔さんが持てゐると鑑定する阪探偵宜しく探偵方針を改めて女を覗ふべし格言に曰く犯罪の蔭には女あり（天眼通）▲夜中の二時三時まで明月館で騷いでゐるので近所の者は眠られぬ所轄警察署の注意を望む（迷惑生）▲本町通りの雑沓する所を夜中自轉車が飛廻はるのは危なくつて溜らない（新入京近眼生）▲京城の物價は仁川より安く殊に料理屋も京城の方が安い（九三生）▲本町通りの本屋の店頭へ毎晩子供が一杯只讀みをしてゐるが小僧さん何とか追拂ふ法は無いものかね（異の客）▲「誰」の疑問の探偵は阪おちや駄目だこんな複雜な事件を解くにはもつと大手腕を要する、現下の支那事局と同樣だ吾輩はきつと阪の外に誰か大人物が出るんだと思ふねさうでしやう（渦望生）

遞信局
一、競爭入札購買　朝鮮總督府ボテンショメーター（電話交換手受話器外參點）七拾七點○五點
詳細七月拾四日ノ本府官報ニ在リ

購買土地調査局
第一號鮮紙五十八萬枚　第二號美濃紙參拾五萬壹千枚
臨時　詳細七月十六日以降ノ朝鮮官報ニアリ

物品拂下廣告
第一號 人力車及附屬品　第二號 ゴムホース及タイヤ類　第三號 流込蠟燭　第四號 リネンシユランク箱入（壹個貳拾反入）
右七月十六日午後一時京城稅關出張所ニ於テ入札賣却ス
大正六年七月十四日
仁川稅關

京日案內
普通一回前金五十錢　番外一回前金（姓名在社）[illegible]
▲申込後中途掲載中止の節は前金返却せず
▲前金は特に壹割引
[illegible]

信用絕大　古本と古樂器鑑定評價買受　電話二五元、本町　ウッボヤ書店　振三三　215
獨立門附近土地六百餘坪及地上物件坪與國に付至急格安讓る　立門東光社與　丸山　290
電話讓る　姓名在社　285
事務員入用本人來談又は履歷書送れ　京城日報仁川支局　288
帶本人來談男女新聞記者　帝國新報社京城支局吉野町二ノ二二七　第三帝國鮮滿總支社
商業藥劑師藥品販賣に充分經驗ある藥劑師病院又は藥舖等に雇はれたし（姓名在社）286
貸家　黃金町一丁目三井物産附近日本建物二階家附數五、湯殿水道電燈　蓬萊町中村電話一九七七番　275
讓り店　本町通り目抜の場所何商賣にも適する格好の店　姓名在社　281
小僧二三名入用　十四五歲小學校卒業したる者本人來談を乞ふ　本町一山岸天佑堂器械部電一〇六　277
番外
鑛物各種分拆　太平町二丁目二三六（電話二八二三）遠藤醬油店向側入る　松永分拆所　272
くだりはらには健胃整腸散に限る　京城明治町一　小川昰知堂製　287
女子社員採用　但集金係
興產式株會社京城出張所　黃金町一ノ六十電話三○七九　289
新古金庫大釜洋和樂器　椅子卓子陳列戶棚書棚製造並び修繕姿鏡　黃金町二丁目電長二四二一　室商店　264

一番よくきく　かぜねつさまし　一ぷくにてきゝめある　キナピリン
價拾錢 廿錢 三拾錢
本鋪 大阪 高橋盛大堂藥局

吸入瓦斯機買入　十馬力乃至十五馬力の吸入瓦斯中古機關一臺買入れ度し放資希望の方は下名へ御通知を乞ふ
忠南大田　大田皮革株式會社內　本間巽

急告　右都合に依り附屬設備ヲ解除シ一切關係無之候右ハ左記店主ノ依頼ニ[illegible]
京城太平町三丁目　[illegible]新荷落（一山本商店
正木末八郎（通稱）末吉
大正六年七月十四日　仁川府內里
赤松吉藏商店

眼鏡製作
今般眼鏡製作工所開設仕り候に付ては從前よりも一層急速及價格低廉を以て御用命に應じ申す可候間御引立の程願上候
米國製金張玉付
九金細ズル一匁三分八六、〇五〇
九金新縁ナツ一匁三分　八七、〇九〇
十四金同一匁八分　二〇、〇六〇
十八金同二匁一〇、〇〇〇
二十金同一匁二二、五〇
十八金縁ナシ玉付　三、五〇
甲　二、〇〇
乙　一、五〇
內　[illegible]
銀縁　一圓以上二圓五十錢迄　赤銅金六分　八十錢以上二圓五十錢迄　赤銅金六分用　二圓五十錢迄　鐵　二圓五十錢　植ニッケル　六十錢より一圓まで
近乙用眼鏡各種　メニスカス玉一圓五十錢より三圓迄　クリ山玉一圓五十錢より二圓五十錢迄　サック十錢以上一圓まで
各地方より御注文の節は代金引替にて直に御送附申上可候
京城本町一丁目（郵便局前）
中村メガネヤ
電話千百十七番振替京城三四六番

分拆所開始
本所の特色
△設備の完成▽
△技術の優秀▽
△分拆の迅速正確▽
京城明治町二ノ一　電話一七七一　本町一丁目江戸川横入
田部分拆所

最新刊
朝鮮語法及會話書　朝鮮總督府　一、二三
怪獨飛行艇航記　バウルケーニツヒ手記　八五
化學工業　一卷　三冊一時拂一五、〇〇
術としての教育　千葉命吉譯　一、六〇
教育學說の進化　中島半次郎譯　二、八〇
雄辯術　尾崎行雄　一、二〇
實踐國際爲替　小林　三、八〇
在朝鮮內地人紳士名鑑　朝鮮公論社　三、〇〇
野球年鑑　大阪朝日新聞社　四〇
琵琶名曲集　永田錦心　八〇
新舊對照朝鮮全道府郡面里洞名稱一覽　三〇
支那の兵相　大河原曉光　一、七〇
秘密喇嘛教大觀　石川　二、五〇
大阪屋號書店

りん病　ばい毒
本藥は殺菌力強大にして些の副作用なく急性慢性淋病及び各種の梅毒性諸疾患に服用し能く安全迅速に治療の目的を達す
一週分　梅毒 普通金壹圓二十錢 特製金貳圓　淋病 普通金貳圓 特製金貳圓五拾錢
京城永樂町二丁目交番北　東京ドラッグ商會朝鮮本部

皮革製造販賣　牛皮山羊皮高價買入
京釜線大田　大田皮革株式會社　電話長一三四番　電略（タヒ）

十八金製玉入指環　參圓以上　純金製高彫指環八圓以上　十八金製六圓三十錢以上　根掛純金製十八圓以上
地方御注文は代金引換小包便にて御送納申上候
京城本町二丁目　村木時計舖京城支店　電話四十一番振替京城三一九〇番

中元御贈答品の色々
京城日韓書房
縮本小說　第一集　三八
青葉　近松秋江　五五
チロル傑作抄　佐川春水　六五
波のまにまに　水野微笑　六〇
支那全圖　六月版刻　特四〇
生と死の愛　谷崎精二　四〇
子供本位の家庭　安部磯雄　一、〇〇
術としての教育　千葉命吉譯　一、六〇
全國要覽　大正六年　一、四〇
お伽小説　久留島武彥　一、五〇
新朝鮮語法及會話書　總督府　二三
民衆藝術論　大杉榮譯　一、二〇
家庭百科全書　[illegible]　一、八〇
最新催眠術　[illegible]　一、三〇
禪學質疑解答　[illegible]　一、二〇
野球年鑑　大正六年　四〇
定石くづし　第一卷　八〇
朝鮮語獨學　四〇
試驗問題解答（普通文官見習屬員）　六〇

新刊報告
大口質預迎　京城黃金町長橋町入　電話二九一六番　田村質店　商品擔保便利取扱

來る二十二日土用うし
うなぎ
今回最良の鰻多數仕入特別大勉強仕候間御用の節は電話二〇四六番へ御用命被下度直に御届け申候尚御客樣の御意に召す樣室內庭園を改良し仲居數名召抱へ料理は新鮮なる材料を撰び安價を旨と致候間是非御來遊の上御試食奉願候
京城旭町一丁目　電話二〇四六番
蒲燒　御料理一式　柳川　權平庵　中井ゆく

男の生殖器病
東京帝國醫科大學。公私病院寄贈。幾多博士實驗證明。新案特許眞空療法器は生殖器發育不全、包莖、陰萎、遺精、夢精、交接不快、感覺減少、神經衰弱、手淫、房事過度の障害に卓効有り
ハガキで申込めば醫學博士證明の圖入說明書無代贈呈す
東京神田かぢ町五東京眞空療法研究所　電話神田七二二番
患部に自宅で外用せば偉大の効が目に見える來所者には醫院部にて懇切說明す

眼科專門　金井眼科醫院
京城本町四丁目カドス溫泉横（電一五五六）
日曜祭日午前中　金井豊七

純良の藥品と賣藥が揃つて居ます
……御値がお安いです
クラブ化粧品代理店ですから
京城本町二丁目角　古城贊化堂　電話一〇二番振替七三七番

診察時間　自午前九時至午後六時
初診の御方は可成午前中
京城長谷川町一丁目（朝鮮銀行裏門前）
シメノウチ齒科醫院　電話八二二番

安住か蚊取線香
天下一品・年々益々好評　內外各博覽會金牌受領
蚊帳より確かな安住香
毎晩御愛用を乞ふ
每年の通り景品券附　拾函買へば空函無代進呈
到る處の藥店及び荒物屋にて販賣す
大阪市東區　安住大藥房
登錄商標

內科　胃腸病
診察夜九時迄
京城本町一丁目　石川醫院　電話一二三七　二九〇九番

第三版
十四日 大阪株式特電
依然保合
白米値上げ
十四日の九月限